放送大学

THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN

教養学部
案内

2027



答えより、
答えの前後が
おもしろい。

放送大学

開学以来変わらないのは入学試験を設けず、

学ぶ場所や時間の選択肢を複数用意して、

学びたい人がいつでも学べる「開かれた大学」であること。

入学資格は「学び



放送大学では、高校を卒業していなくても

学位取得を目指すことができます。

たい」という気持ち

放送大学の特徴ある学びのかたち

放送大学長　岩永雅也



放送大学での学びには二つの大きな特徴があります。一つ目の特徴はその方法・手段です。放送大学で学ぶ人たちの目的は、たとえば、長年勤めた会社を定年退職したので好きだった歴史の勉強をじっくりしてみたい、リカレント教育の一環としてデータサイエンスを学びデータサイエンティストをめざしたい、あるいは20代でとれなかった大学卒業資格を取得して職場での昇格をめざしたい等、実にさまざまです。学生の職業は多種多様で、年齢も10代から90代まで広汎に分布しています。また、居住地域も日本全国各地に分散しています。要するに、一言で言って実に多様な人たちが多様な目的で学んでいるということです。そのように多様な学生が集まる放送大学ですが、学びの方法・手段は共通しています。それは遠隔学習（distance learning）ということです。放送大学の学生は、BS放送を通して、インターネットを介して、あるいは郵便などの通信手段を使って、空いた時間に好きな場所で自由に学ぶことができるというメリットを十分に活かして、いつでもどこでも気軽に必要な学びを実現しています。そのように、学習上の障害となるさまざまな方法的制約から解放されているということが、放送大学での学びの第一の特徴です。2022年度



CONTENTS

- はじめまして、放送大学です。 p.4
- PICK UP! 多彩な授業スタイル p.8
- LEARNING STYLE CATALOGUE p.12
- 興味広がる、学びの道しるべ 放送大学エキスパート p.16
- 科目選びのヒント 知を耕す誌上講義・授業カリキュラムの解説 p.18
- 学びの6つのコース p.25
- 資格取得でキャリアアップ! p.38
- 施設案内 p.42
- 入学を希望する方へ p.44

からは、放送授業の単位認定試験がインターネットで自宅から受験できるIBT（Internet Based Testing）方式に切り替わり、時間や場所にとらわれない学びの自由度がいっそう高まりました。現在は、さらに試験の厳格性・公正性を高めるための方策についても検討を続けています。

放送大学での学びのもう一つの大きな特徴は、経験知や既存の知識を最大限に活かしているということです。アメリカの心理学者J・ホーンとR・キャッテルは、人名や地名を覚える、外国語の単語を記憶するといった短期記憶、数式・公式など抽象的関係性の知覚、素早い情報処理、瞬発力を要する学習などの能力は、誰でも20歳前後をピークとして低下の一途をたどることを実証的に明らかにしました。そうした知力を、彼らは「流動性知能」と呼んでいます。残念ながら成人学習者がその知力で10代、20代の学生に勝ることは困難です。というのも、この知力の発揮には何よりも処理時間の短さが要求されるからです。即答式のクイズ番組で教養ある中高年が簡単に高校生に負けてしまうのもそのためです。

しかし、成人の知力は衰える一方なのかといえば、そうではありません。同じホーンらの研究により、人間には、物事を言語的に理解し、経験を評価してその成果を利用し、社会環境から適切な情報を引き出すタイプの知力もあって、それは成人期を通じてむしろ高まっていくことがわかっています。彼らはそうした知力を「結晶性知能」と名付けました。結晶性の知力には、生来の知能よりも関心や興味、あるいは経験の豊富さ、そして学習に費やした時間やエネルギーの方がより深く関わっているとされます。いうまでもなく、その結晶性知能こそ、成人学習の基盤となる能力特性です。

成人学習者主体の放送大学では、スピードも膨大な知識の機械的暗記も重要ではありません。意味もなく暗号のような記憶を蓄積するのではなく、現実の事象を理解するための説明を自らの経験知と既存の情報を総動員して組み立て、それを完結するために必要とされるけれども今は不足している部分の知識を効率的にねらって獲得する‥‥そうした結晶性知能を生かした学習こそ放送大学での修学に最も適しており、また多くの方々がそのように学びを進めているところです。

放送大学の学びの扉は、知の結晶を目指すすべての方々に開かれています。

Iwanaga Masaya profile

東京大学大学院修了、博士（学術）。
専門は、教育社会学の視点と方法に基づく現代的教育課題の分析。
DXの進展と社会変化に呼応した放送大学の教育改革を目指している。



はじめまして、

放送大学では、さまざまな地域に住む、幅広い年代・

文部科学省・総務省所管の通信制大学です

大学卒業（学位取得）、教養を身につける、興味のある分野を学ぶ、資格取得のための単位を修得する等、さまざまな目的で学べる正規の大学です。

入学試験はありません

入学の機会は4月と10月の年2回です。学力試験はなく、書類による選考のみで入学できます。

大学卒業を目指す全科履修生として入学するには高等学校卒業・高等学校卒業程度認定試験合格等の大学入学資格が必要です。

中学校卒業または高等学校中退の方でも所定の条件を満たせば学位取得を目指せます。詳しくは別冊の『学生募集要項』を確認してください。

在籍者数

約8.4万人

2026年度第1学期時点

時間や場所を問わずに学習できます

BS放送、インターネット等で好きな時間に学習できるのが、放送大学最大の特徴です。



普段お使いのテレビ、パソコン、スマートフォン等を使用して学習できます。学生の方なら、講義をいつでもインターネットで視聴できます。



好きな時間・場所でマイペースに勉強をすることができます。

さまざまな資格取得でキャリアアップ

教員の上位免許状取得や、司書教諭、幼稚園教諭、認定心理士、学芸員等の資格取得のために必要な単位、またはその一部を修得するための科目を用意しています。

➜資格取得についてはp.38へ

放送大学です。

職業の方が、自分に合ったスタイルで学べます



目的に合わせて3つの学生種から選択できます

全科履修生

最長10年間まで在学

大学卒業を目指す方、生涯学習として幅広い分野の科目を学習したい方に向いています。所定の卒業要件を満たせば卒業となり、学士の学位取得が可能です。入学料は24,000円です。

選科履修生

1年間在学

特定の科目のみを学習したい方に向いています。1年間在学することができ、入学料は9,000円です。

科目履修生

6カ月間在学

特定の科目のみを学習したい方に向いています。1科目から学べるのでお試しで入学したい方にも最適です。6カ月間在学することができ、入学料は7,000円です。

全科履修生はコースに所属します

実生活に即した幅広い分野を学び、専門的な学習を深めます。
全科履修生は6つのコースから1つを選択し所属します。

[生活と福祉コース]　[人間と文化コース]
[心理と教育コース]　[情報コース]
[社会と産業コース]　[自然と環境コース]

➡各コースの詳細についてはp.25へ

短期間の在学で科目を履修します

選科・科目履修生として修得した単位は全科履修生として入学した際に、卒業に必要な単位として認定されます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

所定の単位を修得し必要な修業年限を満たした上で、次に掲げる学修目標に到達したと認められた学生に学士（教養）の学位を授与する。

1. 専攻する学問領域における基本的な知識を体系的に習得している。
2. 人文・社会・自然の各学問分野を中核とする幅広い教養を涵養し、単一の学問領域内の知識を超えた複眼的な視点を身につけている。
3. 論理的思考に基づいて、職場や日々の生活等で生じる様々な課題を発見し、問題を解決するための糸口を見出すことができる。
4. あらゆる場面において、倫理観をもち、責任ある行動をとる能力を身につけている。
5. 国際的な視野、文化の多様性への理解、自然環境への配慮のもとに、社会に貢献する姿勢を身につけている。

（＊各コースに関連した分野の社会における顕在・潜在ニーズを踏まえたコースごとの「専攻する学問領域における基本的な知識」及び「人文・社会・自然の各学問分野を中核とする幅広い教養」は、右記のとおり。）

生活と福祉コース
【専攻する特定の学問領域における基本的な知識】衣食住・家族・健康・福祉等生活に関わる諸問題に関する概念と知識。
【人文・社会・自然の各学問分野を中核とする幅広い知識】現代社会における衣食住・家族・健康・福祉等生活に関わる諸問題の理解と実践に関する幅広い知識。

心理と教育コース
【専攻する特定の学問領域における基本的な知識】人間の心と発達、教育に関わる複雑な諸問題に関する概念と知識。
【人文・社会・自然の各学問分野を中核とする幅広い知識】現代社会における教育や発達の理解と支援に関する幅広い知識。

社会と産業コース
【専攻する特定の学問領域における基本的な知識】社会と産業の基本的なしくみに関する専門的な知識や、持続可能で豊かな社会を生きるための技術。
【人文・社会・自然の各学問分野を中核とする幅広い知識】社会と産業のしくみに関する学際的な知識や、持続可能で豊かな社会に関する幅広い技術。

人間と文化コース
【専攻する特定の学問領域における基本的な知識】思想・芸術・歴史・文学をはじめ、人間の生み出した文化のありかたに関する知識。
【人文・社会・自然の各学問分野を中核とする幅広い知識】人間の生み出した文化に関する様々な学問分野についての知識や方法についての幅広い知識。

情報コース
【専攻する特定の学問領域における基本的な知識】情報学に関する知識と技術。
【人文・社会・自然の各学問分野を中核とする幅広い知識】実際的な問題解決に必要となる人文・社会科学、工学、自然科学に関する知識。

自然と環境コース
【専攻する特定の学問領域における基本的な知識】科学的根拠に基づく自然の様相に関する知識。
【人文・社会・自然の各学問分野を中核とする幅広い知識】人間活動と自然との関わり合いや持続可能な未来に向けた実践と判断に関する知識。

学費を抑えて学べます

入学料は 7,000円～

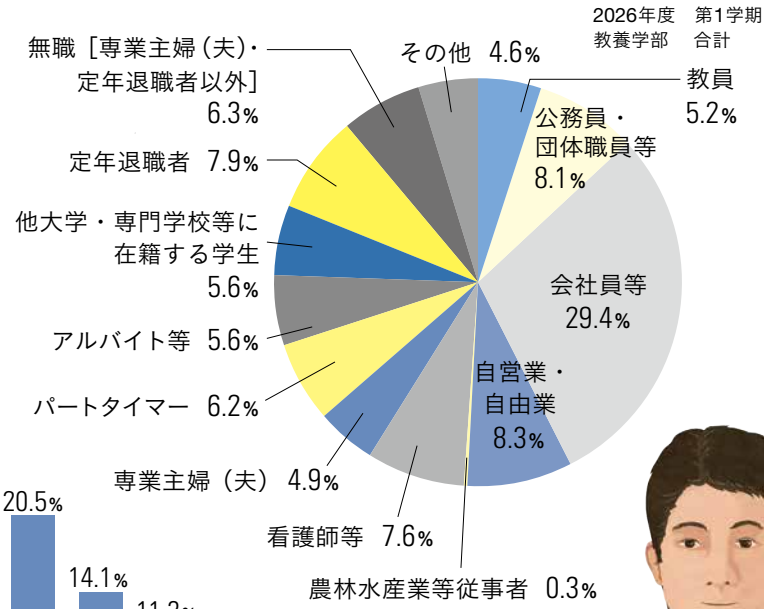
授業料は1単位 6,000円

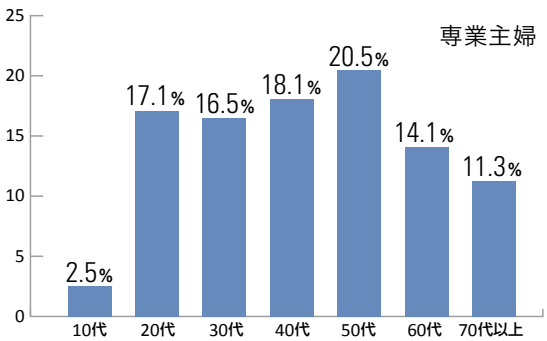
➡学費についてはp.45へ

2028年度第1学期から教養学部の授業料を改定します。詳しくは本学ウェブサイト（重要なお知らせ）をご覧ください。

さまざまな年代や職業の方が意欲的に学習

10代～100歳の方まで幅広い年代の方が学んでいます。30～40代では、仕事でキャリアアップを目指す方や、社会とのつながりを求める向上心の高い主婦（夫）の方等が、多様な目的で学んでいます。シニア層も多く、定年退職を迎えた方、子どもが独立して時間ができた方等がいます。





全国の学習センター等を利用できます

全都道府県に学習センター・サテライトスペースを設置しています。
授業を受けるだけでなく、学生同士の交流も盛んです。



学習センターでできること

- 面接授業（スクーリング）の受講
- 単位認定試験の受験
- 自習スペースの利用
- 学習相談
- 学生団体（サークル）活動や交流



➡施設案内については p.42へ

所定の単位数を修得して大学卒業（学位取得）を目指せます

放送大学学園法により設置された正規の大学です。大学卒業資格である「学士（教養）」の学位が取得できます。また、修士・博士後期課程も設けています。



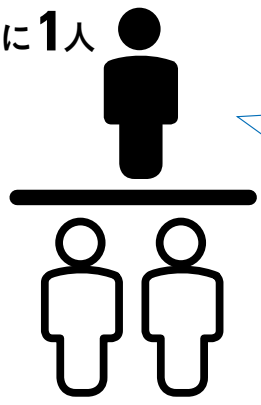
トップクラスの教員が約2,000人！

実力・人気ともに高い一流の教員から、理論や知識を吸収できます。また、他の国立大学や私立大学等からも多くの客員教員を招いています。

卒業生からも高い評価を受けています

2回以上入学している方の割合

2人に1人



教員に転職。学びを深めようと全科履修生で入学。大変なこともあるけれど、学ぶ楽しさに魅了され繰り返し入学しています！

40年

今後は認定心理士の資格を取得しようと計画中で、その次は大学院で学びたい。生涯現役、生涯学習が私の目標です。



「場所・時間を問わずに学習ができる」ことや「実力の高い一流の教員から学べる」ことが支持され、繰り返し入学される方が多くいます。なかには、開学から現在まで40年間在籍されている方もいます。長期間在籍し、学習を続けられることも放送大学の特徴です。

PICK UP!

多彩な授業スタイル

放送大学には、放送授業・オンライン授業・面接授業（スクーリング）等の

放送授業



印刷教材（テキスト）を使って、BS放送・インターネット等で学習！

放送授業科目を履修する場合は、「放送教材（授業番組）」と「印刷教材（テキスト）」の2つで学習を進め、「通信指導」を提出し「単位認定試験」を受験することで、単位の修得をめざします。

放送授業科目の学習方法

1. **放送教材（授業番組）の視聴による学習と、大学から届く印刷教材（テキスト）による学習を進めます（1科目につき放送教材は45分×15回、印刷教材は15章）。**
2. **通信指導の提出期間中に問題を解いてWeb上で提出。**
3. **学期末に単位認定試験を受験（Web試験）。合格すると単位修得となります。**





放送授業のポイント

- 授業番組とテキストはすべて放送大学のオリジナル。各分野の専門家である担当教員の研究成果を講義化した「放送教材（授業番組）」と、各講義に合わせて執筆した「印刷教材（テキスト）」で学べます。
- 放送教材（授業番組）はBS放送（231ch、232ch、531ch）で毎週決まった日時に放送されており、どなたでも視聴できます。
  その他、学生専用サイト「システムWAKABA」から、在学中はいつでも好きな時間に学習できます。
- 「通信指導」は各学期の途中に1回、前半の一定の範囲から出題されます。期間内に提出・合格することで単位認定試験の受験資格を得られます。
- 単位は卒業要件の「放送授業」となります。



1学期間の単位修得までの受講スケジュール

第1学期	2月下旬	4月上旬	5月下旬	7月下旬	8月
第2学期	8月下旬	10月上旬	11月下旬	1月下旬	2月

科目登録※ → 授業開始 → 通信指導提出 → 単位認定試験 → 成績通知・単位修得

放送教材の視聴 + 印刷教材の閲読

※最初の学期は出願時に科目登録をします。

＼ はじめまして、放送大学です。／

多彩な授業形態があり、科目ごとに決められた形態で学習を進めます。

放送授業はこんな方におすすめ

- ☑ 自宅で勉強したい
- ☑ 好きな時間に勉強したい

通信指導・単位認定試験もWebで実施しています！

学期途中の「通信指導」、学期末の「単位認定試験」は、
Webで提出・受験できます（一部科目は郵送方式）。

Webで受けられるから…

いつでも

期間中は24時間いつでも提出・受験できるから、自分の予定に合わせられて便利です！

どこでも

自宅で提出・受験できるから、自分に合った環境で解答でき、集中力も続く！

どんな日でも

Web環境があればどこでも提出・受験できるから、自宅等から移動の必要がありません。

自分の生活リズムに合わせて学習できます！



HOW TO

1. 科目を選択して開始。
2. Web上で解答を提出。

「Web通信指導・Web単位認定試験」を体験できます

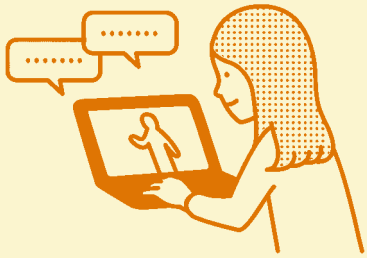
実際に提出・受験で使用するシステムを体験できます。
実際の通信指導・単位認定試験とほぼ同様の操作を
体験してみてください。

Web通信指導お試し版・Web単位認定試験体験版
https://shiken-open.ouj.ac.jp/

※詳しくは授業科目案内をご確認ください。
※自宅にWeb環境が無い方やパソコンの使用が困難な場合は、通信指導は郵送で提出、単位認定試験は学習センター等で受験ができるので安心です（単位認定試験の受験場所は、出願時に選択できます）。

オンライン授業

オンライン授業はこんな方におすすめ
☑ 場所や時間に縛られずに勉強したい／全国の仲間と学びたい



いつでも、どこでも、何度でも、全ての学習をインターネットで！

オンライン授業科目を履修する場合は、講義の視聴 ・ 課題提出など全てインターネット上で学習を進め、単位修得をめざします。

オンライン授業科目の学習方法

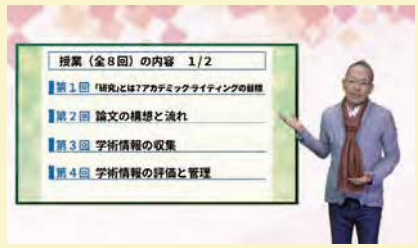
1. **学生専用サイト「システムWAKABA」から開始！受講科目のページで課題提出日や小テスト締切日を確認しておきます。**
2. **視聴メモ（レジュメ）や動画を見て受講します。小テストやレポート、ディスカッション等の課題をこなしていきます。全8回（1単位）の科目と全15回（2単位）の科目があります。**
3. **提出した課題により成績評価が行われ、合格すると単位修得となります。**

※科目のページ例（一回分の流れ）



オンライン授業のポイント

- 受講後すぐに課題に取り組めるので、学んだ内容が身についているかその場で確認できます。演習的な授業科目も多いです。
- 好きな時間に繰り返し視聴できるので、受講しやすいです。
- 科目ごとに受講スケジュールが異なります。
- 単位は卒業要件の「面接授業またはオンライン授業」となります。



※科目のページ例（講義動画）

1学期間の単位修得までの受講スケジュール（一例）※科目ごとにスケジュールが異なるのでご注意ください。

第1学期	2月下旬	4月	7月	8月
第2学期	8月下旬	10月	1月	2月

科目※登録 → 各回の受講及び課題提出（全8回or全15回） → 成績通知・単位修得

※最初の学期は出願時に科目登録をします。



リアルタイムで受講する「ライブWeb授業」も

ライブWeb授業は、ご自宅のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配付、課題提出等はすべて専用のシステム上で行います。

詳細は放送大学ウェブサイト「ライブWeb授業案内ページ」にてご確認ください。

※ライブWeb授業科目は、卒業要件上の「面接授業またはオンライン授業」として修得すべき単位として取り扱います。

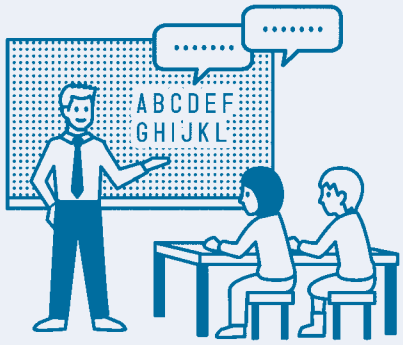
オンライン授業・ライブWeb授業を体験できます！
受講方法や課題の操作方法を体験してみてください。

オンライン授業・ライブWeb授業体験版
https://online-open.ouj.ac.jp/

面接授業（スクーリング）

面接授業はこんな方におすすめ

- ☑ 講師から直接学びたい／仲間と一緒に授業を受けたい
- ☑ 実験やフィールドワークに取り組みたい



学友と一緒に学べる！
全国で約8割の科目が土日開講！

面接授業科目を履修する場合は、学習センターや学外等で直接教員による授業・指導を受けて単位修得をめざします。

学習センター等で講師から直接授業を受けられます

面接授業は、直接教員から講義や指導を受けられる重要な機会であることはもちろん、他の学生との交流や啓発の場でもあります。
一人では体験できない実習や実験等もあり、学友と学ぶ楽しさも実感できます。



1科目1単位で開講
土日開講科目が約8割

- 授業を8回（1時間30分×7回＋45分×1回）行います。開講日に学習センター等に行き、授業を受講します。
- 単位は卒業要件の「面接授業またはオンライン授業」となります。

年間約2,300クラスが開講！

全国の学習センター等で面接授業（スクーリング）が開講されており、所属以外の学習センターでも受講することができます。各学習センター・サテライトスペースによって開講科目が異なり、史跡や船上等、学習センター以外の場所で実習を行う授業もあります。





放送大学の面接授業について
https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/schooling/

地域の特色等を活かした面接授業　https://www.ouj.ac.jp/pj/schooling.html

1学期間の単位修得までの受講スケジュール

面接授業（スクーリング）の登録方法は学生によって異なります
入学前学期に在籍している方と、していない方とでは手続きの流れが異なります（詳しくは別冊の『学生募集要項』を確認してください）。

第1学期	2月下旬	4月中旬		7月下旬	8月
第2学期	8月下旬	10月中旬		1月下旬	2月

科目登録 → 開講期間（科目登録 → 全8回受講） → 成績通知・単位修得

LEARNING STYLE CA

准看護師の

今野未央さん［40代］

在籍期間：6カ月
学生種：選科履修生

北海道



仕事、家事、育児の合間を縫って勉強できる

高校卒業後、医師会付属の准看護師養成所学校で昼間働きながら夜間学校へ進学し資格を取得しました。現在は、日勤と夜勤の2交代制の病院に勤務しています。准看護師資格取得後、結婚し、3人の子どもを出産、子育てしながら働いてきました。子どもたちも成長し、自分の時間がもてるようになったため、看護師国家資格の取得を目指すこととしました。勉強時間は、仕事、家事、育児の合間を縫って、効率的に、かつ集中して取り組むように心がけています。将来、認定看護師の資格取得も目指すべく日々励んでいます。

スケジュール

	morning		afternoon	evening	18:00	
夜勤	起床	朝食	勉強	仮眠	出勤	勤務

	morning	10:00	afternoon	evening		
明け勤	勤務	帰宅	休憩・仮眠	夕食	勉強	就寝

POINT
自分のペースで学べます！

この時間に学習！
家事・育児の合間を縫って学習に取り組みます！

課外活動をきっかけに学び方が変化しました

入学して3年目の頃、SNSの公式アカウントで他の在学生とつながれるようになりました。それまでの勉強は常に孤独で苦労していたので、全国各地の学生と相談し合える場ができたことで学び方が変わり、心の負担も減りました。仲間と一緒に学ぶことはモチベーションの源泉なのだと感じました。さらに、附属図書館に貼られていた、書評ゲーム「ビブリオバトル」のポスターを見つけ、仲間と一緒に始めることに。その課外活動がきっかけで、北海道や群馬、山口、大阪など各地の学習センターの学園祭に呼ばれたり、学外の大会で入賞もできました。放送大学での学びは、たしかに孤独かもしれません。でも交流を心掛けてみてください。予期しない未来を開拓するのもきっと楽しいはずです。

会社員の

高橋 一彰さん［30代］

在籍期間：15年
（期間中に全科履修生として2コースを卒業）
学生種：全科履修生

東京都

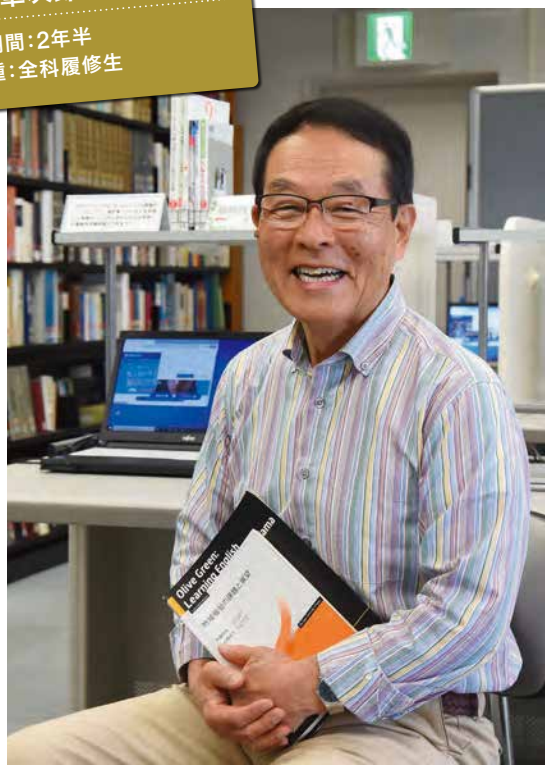


TALOGUE

**いろいろな職種、世代の方々が、
日本各地で自分なりの学び方を実践しています。
あなたも自分のスタイルに合う学び方を、
放送大学で探してみませんか？**　※内容は取材時のものです。

シニア学生の
田代 章次郎さん［70代］
在籍期間：2年半
学生種：全科履修生

佐賀県



学ぶ意欲が若さの秘訣、孫世代との交流も刺激に

定年退職後に放送大学のことを知り、調べてみて「これだ！」と思いました。ちょうど２人の孫娘が大学に入学した頃で、自分も同時期に孫たちと学びたいという思いもあり、入学を決めました。

実際に入学してみると、予想以上に内容が充実していて驚きました。試験のときは大変ですが、単位を修得したときの達成感は格別です。パソコンスキルも、ワードやエクセルを習得したりと大躍進。家族や友人から「若くなったね」と言われるようになったのも、常に目標があるからかもしれません。

また、面接授業で若い人と交流できるのも良いですね。幅広い世代が学ぶ放送大学ならではの環境は、高齢者だけでなく若い人にとっても利点だと思います。

生活と福祉コースは、社会的な貧困問題から身近な問題まで幅広く学べるので満足しています。卒業後は、ここで学んだ知識とさまざまな交流から得た知識をボランティアなどで生かし、地域に貢献したいと考えています。

孤独も、苦労も、分かち合える仲間がいたから

市役所に勤めてようやく2年目という頃の入学で仕事との両立が不安でしたが、自分のペースでとことん学べるので、勉強に対して苦手意識を持っていた私でも円滑に学生生活を送ることができました。もちろん、自由で開かれた大学だからこそ責任を持って、自分と向き合いながら学習を進めなければなりません。時には、孤独で辛くなることもありましたが、そんなときはSNSで放送大学在学生たちと励ましあいました。そうやって学んだ授業内容はとても楽しく、学ぶほどに視野が広がっていくのを実感しました。仕事が辛い時期には逆に放送大学が「心の支え」と感じるほど、私にとってはかけがえのない場所でした。

市役所職員の
竹内 明寿香さん［20代］
在籍期間：4年半
学生種：全科履修生

埼玉県





大阪府

会社員の

大西 和貴さん［20代］

在籍期間：3年
学生種：全科履修生

やりがいを感じる難易度がモチベーションに

入学時はソフトウェア開発の会社で研究開発に携わる仕事をしていました。２年制の語学系専門学校と３年制のIT系専門学校を卒業していましたが、仕事をするうちに「やはり大学院に進学したい」と思うようになり、まずは学士の学位取得のため情報コースに入学しました。専門卒ですので3年次編入、2年間で卒業するつもりでした。ところが実際に学び始めると想像以上にクオリティもレベルも高く、3年間じっくり学ぶことに。むしろやりがいを感じて楽しく取り組むことができましたし、専門学校では学べなかった深い知識を得られたことでキャリアの土台を築くことができたと感じています。放送大学で身につけた基礎体力が、今後の仕事や大学院などあらゆる場面で生きてくることを楽しみにしています。

大阪府

会社員の

村上真紀さん［40代］

在籍期間：8年
学生種：選科履修生→
全科履修生→選科履修生

卒業研究の達成感が仕事への自信に

仕事に生かそうと、数学や物理、英語等を働きながら履修。学ぶほどに興味が広がり、教員主催の勉強会にも参加し、多様な考え方が刺激になりました。卒業研究は、ボランティア活動をしている科学館で出会ったハーシェルの論文再現。教員の厳しくも優しい指導の下、難解な英語の論文を読み解き、地道な実験で実証できたことが嬉しくて、達成感を得られました。また、学業を通じて論理的思考や会話が身につき、海外の方と仕事する際にも生かされ、自信にもつながっています。



※それぞれの学生の方のプロフィールにある在籍期間等は、取材時のものです。現在、ご卒業された方も掲載しています。

親子で学生



「学ぶ喜び」は、苦労を上回るものでした

救急救命士として消防の現場で働いていた頃、職場で目にした放送大学のパンフレットで心理と教育コースがあることを知り、相手に寄り添う現場活動のため、また自分自身へのメンタルケアのためにいつか心理学を学びたいと思っていたため入学を決めました。覚悟はしていたものの仕事をしながらの勉強はやはり大変。それでも学ぶ喜びは苦労を上回るものでした。学んだ知識を職場で活用できる機会に幾度となく遭遇しましたし、面接授業では学習方法についての情報共有や授業内容についての意見交換ができる仲間と出会えました。私が楽しく勉強する姿を見て、母も放送大学に入学したことも嬉しいサプライズ。親子共々、学びを楽しみながら、知識の向上が自信に繋がっていくのを実感しています。

パートタイマーの
有村 幸さん［ 50 代 ］
在籍期間：2年半
学生種：全科履修生

院内救命士の
有村 愛さん［ 20 代 ］
在籍期間：5年
学生種：全科履修生→選科履修生

鹿児島県

教育訓練給付制度を利用できます！

※受給資格条件あり。

本学教養学部（選科履修生 ・ 科目履修生）では、教育訓練給付制度の厚生労働大臣の指定を受けています。
受給資格のある方は、出願時に希望するコースを申請することで該当講座の受講が可能です。
修了条件を満たした場合、当該講座受講に係る入学料及び授業料の20%に相当する額(上限10万円)をハローワーク(公共職業安定所)から受給することができます。
対象講座は下記のとおりです。
【選科履修生】企業会計コース ／ 企業経営コース ／ 学校地域連携コーディネーターコース ／ データサイエンスリテラシーコース／ データサイエンスアドバンスコース
【科目履修生】企業経営（短期養成）コース

詳細は、本学ウェブサイトをご覧ください。 https://www.ouj.ac.jp/admission/gakubu/training-education-benefits/

各種コンテンツ

YouTube 放送大学YouTubeチャンネル



担当講師による科目紹介動画も多数ご用意しております。
気になる科目についてぜひご覧ください。

放送大学ウェブマガジン ON AIR web



「まなびストーリー」にて様々な年代・地域の学生のみなさまに放送大学での学びについてお伺いしております。



健康・福祉

健康福祉指導プラン

介護予防や健康維持のため、中高年者 ・ 健常人に適切な運動実践を促す指導者を目指します。

※「健康福祉運動指導者」は放送大学独自の呼称です。

福祉コーディネータプラン

福祉NPOや地域で活躍する人に求められる福祉や保険の知識、活動知見を高めます。

※「福祉コーディネータ」は放送大学独自の呼称です。

17プラン

［科目群履修認証制度］

興味広がる、学びの道しるべ

放送大学エキスパート

特定の分野をそれぞれ体系的に学べるプランが用意された制度です。所定の単位を修得すれば、学びを証明する「認証状」を取得することができます。自分の興味・関心に合ったプランで認証状取得を目指すことはもちろん、履修科目探しに役立ててください。

［取得方法］まず目標とするプランを決め、そのプランの認証条件を満たす科目の単位を修得します。認証条件を満たし申請を行うと認証状と証明書が発行されます。（教養学部の全科履修生・選科履修生・科目履修生が対象となります）

▶ 詳しくは冊子『科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）について～認証取得の手引き』を確認してください。

AI教育に関心がある

宇宙の神秘に触れたい



科学・数学

宇宙・地球科学プラン

宇宙・地球のことを学びながら、自然のシステム、社会・人文的システムの理解を深めます。

データサイエンスリテラシープラン

数理・データサイエンス・ＡＩが、現在の社会変化に深く寄与し、自らの生活とも密接に結びついていることを理解することで、データサイエンスを仕事等の場で使いこなすための基礎的素養を身につけます。

データサイエンスアドバンスプラン

データ駆動型社会においてデータサイエンスを学ぶことの意義を理解することにより、分析目的に応じた適切なデータ分析手法の選択や、データ可視化手法の選択などができるようになるための知識を身につけます。



この他、環境科学プランがあります。

子どもの教育に役立てたい

心理学の基礎を知りたい



心理学

心理学基礎プラン

心理学を包括的に理解するため、入門・初級から、中間レベルまでの学習達成を図ります。

臨床心理学基礎プラン

人と人との実践的かかわりに関する臨床心理学の基礎的知識の習得を目指します。



日本やアジアの文化が好き

外国人の方々とコミュニケーションがとりたい

国際・文化

日本文化を伝える国際ボランティア・ガイド（基礎力）養成プラン

伝統的な日本文化について幅広く学び、日本に関心のある外国の方々に外国語で伝える能力を身につけます。

異文化コミュニケーションプラン

ボランティア活動等の場において、異なる文化の人々と交流するためのコミュニケーション力を高めます。

エキスパートがおすすめの理由

☑ 学習の履修モデルとして

科目選択で迷ったとき等に、学習計画の参考にすることができます。

☑ ボランティア活動等で活用

専門知識を社会貢献活動等に、役立てることができます。

☑ 履歴書に記載できる

特定の分野を体系的に学習したことの証明として利用できます。

37,415名が
認証状を取得しています
（2026年3月31日現在）

博物館の仕組みを学びたい



芸術・博物館

芸術系博物館プラン

美術館・演劇博物館等の芸術系博物館の活動支援に携わる人材の育成を図ります。

歴史系博物館プラン

歴史や文化遺産についての知識を身につけ、地域や博物館等で活躍する人を育てます。

この他、自然系博物館プランがあります。

地域や市民自治に興味がある

市民・社会コミュニティー



この他、社会生活企画プランがあります。

教育事務専門プラン

教育事務に携わる方の専門性向上を図ります。

学校地域連携コーディネータープラン

学校、地域、子ども等にかかわる知識で学校支援活動や地域活動の要となるコーディネーターを養成します。

※「学校地域連携コーディネーター」は放送大学独自の呼称です。

地域貢献リーダー人材育成プラン

地域社会のさまざまな問題解決に主体的に取り組めるリーダーの育成を目指します。

科目選びのヒント

知を耕す誌上講義

Living&Welfare
生活と福祉コース
「公衆衛生（'24）」

世界中に大惨事をもたらすことになった新型コロナウィルスの感染拡大。その連日の報道で、「公衆衛生」という言葉を耳にする機会が増えたのではないでしょうか。

そもそも公衆衛生とは、「国民の健康を保持・増進することを目的として提供される公的な予防・衛生サービス、もしくはその活動」のことを指します。この予防・衛生活動は、「個人の疾病や負傷を医学によって治癒するサービス」である医療と車の両輪の役割を担うもので、私たちの生活を守る社会保障制度のひとつとして位置づけられています。

私たちは、このような公衆衛生の科学と技術の力を借りて、古代ギリシャの時代から長きにわたって感染症と闘い続けてきました。それは、新型コロナウィルスの爆発的な猛威を経験した現在でも同様です。

21世紀の新しい社会のあり方を創造し、未来へと発展していくためにも、公衆衛生を通じて人類と感染症の歴史を学び、社会保障について考えることは、非常に価値のあることだと思います。

“社会保障制度としての公衆衛生”



田城 孝雄 放送大学特任教授

東京大学医学部卒業。日本医師会総合政策研究機構主任研究員、順天堂大学医学部公衆衛生学講座准教授等を経て、現職。専門は内科学、公衆衛生学、地域医療学。

生活と福祉コースの授業の例

生きるうえで不可欠な“食”を考える

「食の安全（'25）」

朝倉 富子（放送大学特任教授）
関崎 勉（東京大学名誉教授）

私たちが口にする食品は、生産、加工、保存、流通などを経て届けられます。これらの過程で危害要因が含まれると、食中毒や健康被害の発生に繋がります。食品添加物や農薬のように本来食品には存在しない成分、機能性表示食品、特定保健用食品など、現在、食を取り巻く環境は変化し複雑化しています。本講義では、食品の危害要因と、食の安全に関わる項目、食の安全に関する法体制や行政組織について解説していきます。

「私たち」の問題として思考してほしい

「貧困の諸相（'23）」

駒村 康平（慶應義塾大学教授）
渡辺 久里子（神奈川大学准教授）

貧困·格差とその解決はいつの時代も大きな問題ですが、その原因や弊害は時代とともに変わります。世界経済に深刻なダメージを与えた新型コロナによる新しい貧困問題、子どもの貧困や貧困の世代間連鎖など、貧困にまつわる歴史、現代社会における貧困の概念、定義、測定方法、新たな問題、解決する政策などについて考えていきます。

疾病がもたらすさまざまな障害を解説

「疾病の成立と回復促進（'25）」

岡田 忍（川崎市立看護大学教授）
佐伯 由香（人間環境大学特任教授）

疾病によって引き起こされる様々な身体内部の変化と生活への影響、疾病の回復過程とそれを促進する要因についての知識は、疾病を予防し、疾病に対して適切な医療、看護を提供するために不可欠なものです。本講義では、看護師が疾病の成立と回復促進を理解することの必要性など、生命活動や生活にどのような障害をもたらすのかという視点から、様々な疾病について解説します。

コースや科目の選択に迷っている方に、各コースの教員が授業の面白さを凝縮した誌上講義を行います。ぜひ「科目選びのヒント」として役立ててください。

Psychology& Education

心理と教育コース

「発達心理学概論（'27）」

“加齢？いいえ、大人も発達しています”

「発達心理学」は、受精から死に至るまでの一生涯を扱う学問。発達って、子どもだけの話じゃないの？と思われるかもしれませんが、大人になってからの発達もあるんです。例えば「結晶性知能」。過去の経験や学習に基づいた現実的な問題に対する解決能力のことで、老年期まで伸び続けるとされています。また情緒的安定性等パーソナリティの面での成熟も。大人の発達心理は、比較的新しい研究分野なので、今後も新たな発見が期待できます。

とはいえ、発達には個人差もありますし、時代や文化が与える影響も見逃せません。今明らかにされているセオリーが唯一の正解というわけではありませんが、発達の大まかな傾向や個別の事例を知ることで、私たちは子どもの成長や大人になった自分、さらには老後の人生に対して、より広い視野を持って臨むことができるようになるのです。

受講生の皆さんには、講義で得た知識に自らの経験を重ね合わせて、自分の人生や他者との関係性をより味わい深いものにしていっていただけたらと願っています。



向田 久美子
放送大学教授
お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程単位取得退学。博士（心理学）。清泉女学院大学准教授等を経て現職。専攻は、発達心理学、文化心理学。

心理と教育コースの授業の例

心の中に外の世界を再構築する

「錯覚の科学（'20）」
菊池 聡（信州大学教授）

私たちの脳が認識する世界と、客観的な世界の間にズレが生じることーそれが「錯覚」。この錯覚の性質や特徴を知ることは、私たちがどのように世界を認識しているのかを知ることにつながる。錯覚が私たちの日常生活や社会、文化、芸術に与える影響を検討し、人の認知が持つ独特の仕組みについて理解を深めていきます。

家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について考える

「社会・集団・家族心理学（'26）」
森 津太子（放送大学教授）

人間は社会的動物であり、常に他者との関係性のなかで生きている。本講義では、社会的動物である人間が、社会を構成する他者からどのように影響を受け、またそうした社会をどのように認識しているのか。そして、集団としての行動は、個人の行動とどのように異なるのかについて解説する。さらに、もっとも身近な集団である家族の機能についても考えていく。

データを読み解き、こころを知る

「心理学統計法（'21）」
清水 裕士（関西学院大学教授）

心理学で用いる統計的手法について、基礎的な理論から、実践的な分析手法まで解説します。具体的には、心理学で用いるデータの種類とその要約方法、推測統計学や統計的因果推論の理論的基礎、そして推測統計学による母集団の性質の推定を実際に行うためのノウハウについて解説を行います。

Society&Industry

社会と産業コース

「社会学概論（'25）」

人は社会を作り、時には社会をさまざまな形に変えていく存在です。その一方、人は社会によって形作られているという側面もあります。そのような人と社会の関係を観察しながら、「人と人、または人と社会がどのようにつながっているのか」を解き明かすのが社会学という学問です。

社会学が誕生したのは、18世紀後半頃の近代化が始まった時代。当時、それまで当たり前だと思われていた価値観が崩れていく中、人々は未来に不安を感じ、同時に社会の変化に強い関心を持ちました。そんな中、「私たちが生きている社会は、どのように形作られてきたのか」という疑問が生まれ、それを明らかにするための学問として研究が始まったのです。

デジタル社会の浸透で、生活のあり方が変わろうとしている現在も、実は当時と同じような社会の転換期であると言えます。今私たちは、さまざまな未知の課題に直面しています。それらを考え、理解しようとするとき、社会学は社会の姿を捉えるための重要なツールとなるのです。

“社会学は、人と社会のつながりを解き明かすツール”



北川 由紀彦 放送大学教授

慶應義塾大学文学部卒業。東京都立大学大学院社会科学研究科博士課程単位取得退学。日本学術振興会特別研究員等を経て現職。専門は都市社会学、都市下層研究。

社会と産業コースの授業の例

「マーケティング」とは何か

「マーケティング（'25）」

安藤 和代（千葉商科大学教授）
石井 裕明（早稲田大学准教授）

人々や社会のニーズや課題を見つけ出し、それらを充足あるいは解決する手段や仕組みを提供することで、市場を創造・維持・発展させる活動、マーケティング。マーケティングの初学者を対象に、全体像、基礎的な概念や理論について、事例を交えて解説します。またデジタル化や社会課題の顕在化など企業を取り巻く環境の変化に対するマーケティングでの取り組みなど、今日的なテーマについても取り扱います。

労働法の基本的知識を習得する

「雇用社会と法（'21）」

國武 英生（小樽商科大学教授）

日本の雇用社会は変化しつつあります。これまでは、長期雇用を重視し会社が人材育成の機能を果たしてきましたが、少子高齢化や非正規雇用の増加、グローバル化・人工知能・AIなどの技術革新により時代の変化に直面しています。世界的な動向も踏まえながら、働く人を守るためのルールである労働法や、雇用社会の問題について理解を深め、解決の筋道を考える法的思考力を養っていきましょう。

正しい理解でファイナンスを身近なものに

「ファイナンス入門（'23）」

齋藤 正章（放送大学准教授）
阿部 圭司（高崎経済大学教授）

私たちが経済活動を行ううえで、直接的・間接的にかかわりのあるファイナンス。しかし、認識不足から“お金儲けの道具”と誤解する等、敬遠する人が多いのも事実です。本講義ではファイナンスに関する正しい知識を習得し、社会におけるその役割をより身近に感じ、理解してもらうことを目的としています。

Humanities&Culture

人間と文化コース

「フィールドワークと民族誌（'24）」

人類とはどんな存在なのか、その未来にはどんな可能性があるのかを考える文化人類学という学問。その柱となるのが、フィールドワークによる探求と、その成果を世に問う民族誌です。

フィールドワークや民族誌という言葉を聞くと、遠く離れた異境の地で、私たちとは異なる生き方をしている人々を対象にするというイメージを思い浮かべると思います。しかし、実際に文化人類学が主に探求するのは、私たちの身近に息づく「他者」の世界です。

近年、グローバリゼーションの結果、近代の世界が地球全体を包括したことで、「近代の外は存在しない」と言われるようになりました。しかし、グローバル・ネットワークの隙間を注意深く見てみると、そこに外の世界がしっかり息づいていることに気がつきます。実は、そこにこそ近代にとっての他者が存在するのです。

近代の内外を行き来し、身をもって近代の生き方を相対化しながら、私たちが生きる世界の新しい選択肢を見出す。それがフィールドワークと民族誌の醍醐味だと言えます。

“身近な「他者」をフィールドワークする”



大村 敬一 放送大学教授

早稲田大学第一文学部卒業。同大学院文学研究科博士後期課程満期修了。博士（文学）。大阪大学大学院言語文化研究科准教授等を経て、現職。専門は文化人類学。

人間と文化コースの授業の例

哲学・思想の根源から現代文明を問い直す

「哲学・思想を今考える（'23）ー歴史の中でー」

魚住 孝至（放送大学名誉教授）

「何ゆえに、われわれは、今、ここに、このように生きているのか」を根本の問いとして、儒教・仏教・一神教・ギリシアの根源思想から西洋哲学、アメリカ先住民や日本の思想を捉え直します。現代哲学も踏まえて科学技術によって大きく変容した地球環境問題や人間の誕生から死までの生命倫理を考えます。

「人」から世界史を読み解く

「歴史のなかの人間（'22）」

近藤 成一（放送大学特任教授）
杉森 哲也（放送大学教授）

歴史のなかの人間に焦点を絞り、人物を通してその人物が生きた時代と社会についての理解を深めます。日本史·アジア史·西洋史という地域の枠組み、古代から近代までという時代の枠組みに捉われず、幅広い視点から歴史について考えます。また、学習を通して歴史を研究する方法や基礎的な知識や方法を身につけることを目標としています。

映画芸術への理解を深める

「映画芸術への招待（'25）」

野崎 歓（放送大学教授）
宮本 陽一郎（放送大学特任教授）

映画の誕生から現在までの歩みを辿り、芸術としての成り立ちを学ぶとともに、社会において映画芸術が果たしてきた役割を考察します。映画の歴史を知り、芸術作品として読み解くために必要な数々の方法を学び、映画が共同体にとってもつ意義や、社会・政治と映画の関係への理解を深めましょう。

Informatics

情報 コース

「Rで学ぶ確率統計('27)」

「明日、雨が降る確率は?」「プロ野球のあるチームが次の試合に勝つ確率は?」

そのような確実でない未来を予測するときに役立つのが、「確率統計」という学問です。確率統計は近年話題の「データサイエンス」の基本概念のひとつ。データサイエンスとは「ビッグデータ」と呼ばれる大量の情報をコンピュータで解析することで、その背景に隠れたメカニズムを明らかにする手法です。データサイエンスは様々なビジネスや社会の事象の未来予測に活用が始まっており、今後ますますその担い手が必要になると言われています。

本講義は「R」という誰でも無料で使えるソフトウェアを使った演習により、確率統計を理解できるようになることを目標としています。Rは膨大で複雑な計算を、条件を変えながら簡単に実行でき、グラフやレポートも作成できます。様々な試行を繰り返すことで、確率分布などの様々な概念を実感として理解できるでしょう。近年多くの大学でもデータを活用できる人材の育成が始まっています。本講義で学ぶ確率統計は、本格的なデータサイエンスの入り口としても非常に有効です。

“データサイエンスの入り口としてのR”



秋光 淳生

放送大学准教授

東京大学大学院工学系研究科数理工学専攻修了、同研究科先端学際工学専攻中退、博士(工学)。東京大学先端科学技術研究センター助手等を経て現職。専攻は数理工学。

情報コースの授業の例

デジタル社会に知っておきたいこと

「情報法入門('27)」

橘　雄介(九州大学准教授)

情報及びインターネットに関する法的問題を解説します。この分野は情報法やインターネット法と呼ばれ、知的財産権やプライバシー、個人情報、サイバー犯罪、プラットフォーム、情報セキュリティなどが関わってきます。この分野は技術の発展に伴い変化を続けており、本講義では、情報に関する法について基礎的知識を得るだけではなく、法のダイナミックな展開を学ぶことができます。

映像制作について体系的に学ぶ

「映像コンテンツの制作技術('25)」

近藤 智嗣(放送大学副学長)

この科目の目標は、高等教育の学問分野として映像コンテンツの制作における表現面と技術面の両側面を体系的に身につけることです。表現面としては、企画・構成、シナリオ、カメラワーク、照明、編集など、技術面としてはカメラの仕組み、音声収録、色調整などがあります。これらの学習をとおして、マルチメディアの基礎技術を理解し、映像の表現技法を習得しましょう。

身の回りの問題が数式に?

「問題解決の数理('27)」

大西 仁(放送大学教授)

社会に存在する様々な具体的な問題を数理モデルを用いて定式化できるようになることを目指します。本講義では、線形最適化法から始まり、スケジューリング、ゲーム理論、待ち行列理論、そして非線形の問題まで扱います。問題を解く計算は計算機に任せることができますが、問題の定式化は問題を解決する人間が行う必要があるのです。受講には、大学初年次程度の数学の知識が必要です。

Nature&Environment

自然と環境コース

「ダイナミックな地球（'21）」

「地球は生きている」とよく言われますが、地球は46億年の歴史でも驚くほどダイナミックに変化したことがわかってきました。例えば過去には巨大な隕石の衝突や、地球全体が氷に覆われる全球凍結のような環境の激変が起きています。

それらの事象が近年解明されたのは、分析手法が進歩し地層に記録された地球の歴史の「解像度」が上がったため。地層には過去に起きた太陽系近くの超新星爆発や、地磁気の逆転現象なども刻印されています。そして、太陽系や銀河系の現象が地球に影響を及ぼす可能性も見えてきました。私たち人類を含むほとんどの生物は、地表と大気に挟まれたわずかな空間に生きていますが、その環境を理解するには、地球の中心核から銀河系にまで視野を広げる必要があるのです。そうした複雑な地球の成り立ちを理解するために、本講義では地球を「システム」としてとらえ、その構成要素と相互関係を、100億年から日々のお天気まで時間の尺度を変えて学んでいきます。文理の別なく地球を知ることは、社会や人の活動について別の視点をもたらしてくれるはずです。

“地球のダイナミックな変化を知る”



大森 聡一

放送大学教授

早稲田大学大学院理工学研究科資源及材料工学専攻博士課程単位取得退学、東京工業大学 グローバルCOE特任准教授等を経て現職。博士（工学）。専攻は地質学、岩石学。

自然と環境コースの授業の例

最新研究が浮き彫りにする太陽系の姿

「太陽と太陽系の科学（'18）」

大森　聡一（放送大学教授）
谷口　義明（放送大学名誉教授）

近年急速に進んできているのが太陽と太陽系の研究です。さまざまな太陽観測衛星による研究で太陽表面の多様な活動がわかってきました。また、太陽系全体についても惑星や小惑星の探査機が次々と新しい発見をもたらしています。これらの新しい知見に基づき、太陽と太陽系の最新の姿と進化を学びます。

変数の実関数からのステップアップで知る面白さ

「解析入門（'24）」

河添 健（慶應義塾大学名誉教授）

多変数の実関数の微分・積分と複素関数を学びます。多変数の実関数では、主に2変数関数の可視化、連続性、微分と計算、多項式近似、極値問題、積分、面積・体積の求め方等を学習。その発展として複素数の微分・積分を扱います。応用として留数の原理に基づく実関数の定積分の計算方法を紹介します。

植物の多様性や暮らしとの関わりを学ぼう

「植物の科学（'21）」

塚谷 裕一（東京大学教授）
荒木 崇（京都大学教授）

私たちの住む地球上の生物のほとんどは植物です。この科目では、世界中の植物が集まる小石川植物園の温室を舞台に、植物の生というものを科学的に見ていきます。姿・形の多様性、その背景にある形作りの仕組み、植物と昆虫との相互作用、水環境への適応、様々な暮らしの様式、突然変異や品種改良について学ぶほか、私たちの暮らしと植物の関わりについても取り扱います。

HOW TO STUDY 科目選びのヒント

授業カリキュラムの解説

学習をするための基礎からより専門的なことまで学べる、放送大学の授業カリキュラムについて紹介します。

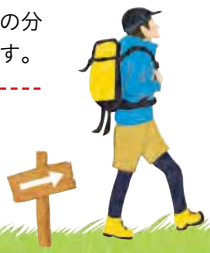


POINT

積み上げ式でしっかり学べる!

教養学部の開講科目は、基盤科目、導入科目、専門科目、総合科目の4つに分かれており、原則として、順番に積み上げて履修することで、その分野での学びを着実に深めていくことができます。







総合科目

学際的な知識、分析手法を身に付け、複数の学問領域から異なる視点に立つ分析を通じて、単一の学問領域内での学習を超えた、教養学部ならではの複眼的な視点を養うこと。

ナンバリングレベル

上級：430
中級：420
初級：410

専門科目

導入における各学問領域の基礎的な知識、能力の修得を前提にして、それをさらに深め、各コースの学問分野についての、専門的な知識、分析手法、思考方法を身に付けること。

ナンバリングレベル

上級：330
中級：320
初級：310

導入科目

各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問領域の導入的知識及びそこで求められる基礎的な能力を身に付けること。

ナンバリングレベル

上級：230
中級：220
初級：210

基盤科目（全コース共通）

放送大学のすべてのコースにおける学習をするために必要となる基礎的な能力あるいはリテラシーを身に付けること。あわせて放送大学で学習することの魅力を知り、学習への意欲を一層強めるために、今日の社会における教養の意義、放送大学における教育の体系、生涯学習等についての理解を深めること。

ナンバリングレベル

上級：130
中級：120
初級：110

各科目についているナンバリングは、別冊の『授業科目案内』で確認することができます。

POINT

自分に合った難易度の授業を取ろう!

授業内容やレベルを勘案して履修できるように、各科目に番号を付与し、分類するナンバリング制を導入しています。これはカリキュラムを体系的に示すために用いているもので、数字の小さい方がより基礎的で、大きくなるにつれ専門性が高くなります。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

【教育課程編成】
ディプロマ・ポリシーに基づき、以下の方針で教育課程を編成・実施する。
＜授業科目の区分と目標＞
・各コースでの学習に必要な基礎的な知識・能力あるいはリテラシーを学び、学習への意欲を一層強め、併せて、今日の社会において必要となる基礎的教養を身につける［基盤科目］を設け、所定単位修得を必修とする。
・基盤科目で学んだ基礎的な知識・能力を深め、各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問分野の導入的な知識・能力を身につける［導入科目］を設ける。
・各コースの学問分野における専門的な知識、技能、思考方法を身につける［専門科目］を設ける。
・学際的な知識、技能を身につけ、単一の学問領域内での学習を超えた複眼的な視点を養うために、［総合科目］を設ける。
＜複眼的視点を身につける修得上の要件＞
・［導入科目］［専門科目］及び［総合科目］のうち、所属するコース以外が開設した科目を最低単位数以上修得することを必修とし、異なる学問領域の視点を学び、複眼的な視点、学際的な知識を養う。
＜多様な授業形態と修得上の要件＞
・授業は、テレビ・ラジオ及び印刷教材による放送授業、インターネットを活用したオンライン授業、教員と直接対面して行う面接授業、自宅等においてパソコン等を用いて同時双方向で受講するライブWeb 授業の４つの形態で実施する。
・放送授業だけではなく、他者と協働した学びや能動的な学習を可能とする双方向性を確保した面接授業、オンライン授業、ライブWeb 授業のいずれかによる所定単位修得を必修とする。
・放送授業では実施しにくい、課題発見・問題解決のスキルの修得、課題に向き合う姿勢、他者との協調・コミュニケーション能力の育成を対面の面接授業、オンライン授業、ライブWeb 授業で補う。
＜ナンバリングとリメディアルによる履修支援＞
・授業科目のナンバリングによって教育課程の体系を明示し、合理的で円滑な履修を支援する。
・各コースでの学習に必要な基礎的な知識・能力あるいはリテラシーを学ぶためのリメディアル教育の場として、自己学習用のe ラーニング教材である自己学習サイトを設け、自発的学習が可能なことを周知する。

【学修成果の評価方法】
シラバスで提示する各授業目標の達成度について基準を設け、試験、レポート等によって評価する。（＊各コースにおける各学問領域の専門的な知識・能力については、右のとおり。）

生活と福祉コース
衣食住・家族・健康・福祉等生活に関わる諸問題についての専門的な知識。

心理と教育コース
教育系、心理系、臨床心理系の３つの領域から構成される、広く人間の発達や教育に関わる問題についての専門的・総合的な知識。

社会と産業コース
社会と産業のしくみについての専門的及び学際的な知識や、持続可能で豊かな社会を生きるための幅広い技術。

人間と文化コース
人間の生み出した文化に関する様々な領域についての専門的な知識。

情報コース
情報の数理的側面・処理・機構・技術と、情報と人間・社会との関わりについての専門的知識。

自然と環境コース
科学的根拠に基づく自然の様相及び人間活動と自然との関わり合いについての専門的な知識。

＼全科履修生として入学されたい方は要チェック／

教養学部教養学科

学びの6つのコース

放送大学では、豊かな教養を培いながら幅広い学問分野を学び、実生活に即した専門的な学習を深める6つのコースを用意しています。全科履修生は1コースを選択し所属します。希望する方は卒業研究も履修することができます。ぜひチャレンジしてください。

01 **生活と福祉コース** ▸p.26

02 **心理と教育コース** ▸p.28

03 **社会と産業コース** ▸p.30

04 **人間と文化コース** ▸p.32

05 **情報コース** ▸p.34

06 **自然と環境コース** ▸p.36

基盤科目

運動と健康（'22）
市民自治の知識と実践（'21）
平和と安全保障（'26）
社会と産業の倫理（'21）
問題解決の進め方（'25）
自然科学はじめの一歩（'22）
少子化時代の子育て―法と政策（'25）
より良い思考の技法（'23）
心理と教育へのいざない（'24）
日本語リテラシー（'26）
日本語リテラシー演習（'27）
日本語アカデミックライティング（'22）
GISで理解する自然とくらし（'27）
デジタル時代の学びの技法（'27）
遠隔学習のためのパソコン活用（'25）
地理空間情報の基礎と活用（'27）
情報学へのとびら（'22）
データサイエンス・リテラシ導入（'22）
データサイエンス・リテラシ基礎（'22）
データサイエンス・リテラシ心得（'22）
初歩からの数学（'18）
身近な統計（'24）
演習初歩からの数学（'20）

外国語科目
シン・ビートルズ de 英文法（'25）
英語で発信する日本文化（'26）
グローバル時代の英語（'22）
英語で読む大統領演説（'20）
続・教養で読む英語（'27）
看護・医療の英語（'19）
ドイツ語Ⅰ（'27）
ドイツ語Ⅱ（'27）
フランス語Ⅰ（'24）
フランス語Ⅱ（'24）
中国語Ⅰ（'27）
中国語Ⅱ（'27）
韓国語Ⅰ（'25）
韓国語Ⅱ（'25）
初歩のトルコ語（'26）
初歩のスペイン語（'25）

看護師資格取得に資する科目

成人看護学（'24）
老年看護学（'25）
小児看護学（'22）
母性看護学（'26）
精神看護学（'25）

▶司書教諭資格を取得希望の方向けに「夏季集中型科目」も開設しております。詳しくは本学ウェブサイトを確認してください。

course 01

生活と福祉コース

〔 学習内容とねらい 〕

生命と生活と社会をつなぐ

本コースでは、日常の衣食住に関連することはもちろん、**家族、健康、福祉**等身近な事柄を対象に学びますが、日常生活に役立つことを勉強するというよりも、生活科学、健康科学、社会福祉学等を基礎にしながら、**人の生活に関わるさまざまな領域**を幅広く総合的に研究し、教育しています。

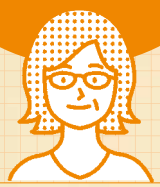
したがって、本コースでは、個人の生活や人生のことだけではなく、家族との関係、地域社会との関係、国際社会との関係まで含め、日常生活世界の課題から、国際共生の課題までを見通して、**学際的な諸問題に取り組んでいます**。身の回りの事象で誰もが経験する事柄を手がかりとしながらも、学問的な興味や関心を持って、学習から研究へと進んでください。

さらに、最終学年には、「卒業研究」（選択科目）で論文を書くこと、また、このコースを卒業したら**大学院で研究する**ことなどにも、ぜひチャレンジしてください。



学びのケース1

両親が高齢になり
介護が心配
【50代・女性 主婦】



体力や体の動かし方を身につけたい

導入科目
- 健康への力の探究（'27）
- 人体の構造と機能（'26）
- 健康長寿のためのスポートロジー（'24）

高齢期の家族問題を多面的に知りたい

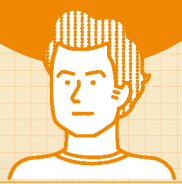
専門科目
- 認知症と生きる（'27）
- 超高齢社会を生きる（'27）
- 日本の家族問題を考える（'26）

分野横断的に福祉制度を学びたい

総合科目
- 地域生活を支える社会福祉と法（'24）
- 地域包括ケアシステムと在宅医療（'18）

学びのケース2

学位を取得して
キャリアアップ
したい
【20代・男性 ヘルパー】



社会福祉の基礎を身につけたい

導入科目
- 生活経済学（'25）
- 社会福祉ー新しい地平を拓く（'22）
- 貧困の諸相（'23）
- 感染症と生体防御（'24）

看護を深く学びたい

専門科目
- 看護学概説（'22）
- 基礎看護学（'24）
- 地域・在宅看護論（'23）
- 認知症と生きる（'27）

さまざまなテーマを総合的に受講したい

総合科目
- 地域生活を支える社会福祉と法（'24）
- グリーフサポートと死生学（'24）
- レジリエンスの科学（'24）

〔 科目一覧 〕

※の科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上の本コースの開設科目としても取り扱います。

導入科目

生活経済学（'25）
豊かに暮らすための不動産学（'26）
健康と社会（'23）
健康への力の探究（'27）
疾病の成立と回復促進（'25）
疾病の回復を促進する薬（'25）
人体の構造と機能（'26）
睡眠と健康（'25）
がんを知る（'26）
感染症と生体防御（'24）
がんとともに生きる（'18）
健康長寿のためのスポートロジー（'24）
循環器の健康科学（'20）
社会福祉ー新しい地平を拓く（'22）
貧困の諸相（'23）
社会統計学入門（'24）※[社会と産業コースと共用]
社会調査の基礎（'27）※[社会と産業コースと共用]
かたちの化学ー化学の考え方入門（'23）※[自然と環境コースと共用]
分子の変化からみた世界（'23）※[自然と環境コースと共用]
初歩からの情報科学（'25）※[情報コースと共用]
Rで学ぶ確率統計（'27）※[情報コースと共用]

専門科目

人間・環境情報とDX（'25）
持続可能な社会へのシステム思考（'27）
ソーシャルシティ（'23）
食と健康（'24）
リスクコミュニケーションの探究（'23）
災害を乗り越える防災基礎力入門（'26）
現代社会のなかの家族（'26）
日本の家族問題を考える（'26）
食の安全（'25）
公衆衛生（'24）
認知症と生きる（'27）
リハビリテーション（'25）
今日のメンタルヘルス（'27）
看護学概説（'22）
基礎看護学（'24）
地域・在宅看護論（'23）
災害看護学・国際看護学（'26）
看護管理と医療安全（'24）
精神疾患とその治療（'26）
超高齢社会を生きる（'27）
地域福祉の課題と展望（'22）
社会福祉実践とは何か（'22）
社会政策の国際動向と日本の位置（'23）
支える社会保障（'26）
子どもの人権をどうまもるのか（'21）
障害者の自立と制度（'24）
高等教育と障害（'27）
生物の進化と多様化（'26）※[自然と環境コースと共用]
環境を可視化する技術と応用（'23）※[社会と産業コースと共用]
ヒューマンインタフェース（'23）※[情報コースと共用]
感覚と応答の生物学（'23）※[自然と環境コースと共用]
都市と地域の社会学（'24）※[社会と産業コースと共用]
家族と教育（'27）※[心理と教育コースと共用]

総合科目

地域生活を支える社会福祉と法（'24）
レジリエンスの科学（'24）
グリーフサポートと死生学（'24）
地域包括ケアシステムと在宅医療（'18）
住まいの環境論（'23）※[社会と産業コースと共用]
モビリティとまちづくり（'27）※[社会と産業コースと共用]

卒業生が作成した卒業研究テーマの一例

首尾一貫感覚がレジリエンスに及ぼす影響～サイクリストを対象としたデータ分析より～／人馬の関係構築はいかにして可能になるのか／霊的体験を語る死別者への支援方法に関する検討–海外の知見の転用可能性–／特別支援教育の現状と今後の課題–B町のアンケート調査を通して–／医療的ケア児支援法の今日的課題／脱施設時代における日中生活介護施設–「居場所」としての意義と課題／高次脳機能障害の当事者・家族のニーズと心理社会的支援／ヘルスリテラシーに着眼した健康政策の実態／小児病棟入院患児を対象とした「ジャンボリミッキー」体操の心理社会的効果／低身長初産婦の非妊娠時体格指数と妊娠中の体重増加からみた分娩様式との関連性／献血ルーム閉所は常連献血者の献血行動をどう変容させたか／在宅復帰支援に向けた地域包括ケア病棟の看護職が行う情報共有の実態

course 02

心理と教育コース

〔 学習内容とねらい 〕

「ヒト」から「人間」へ

本コースは、**教育系、心理系、臨床心理系**の3つの領域から構成されています。

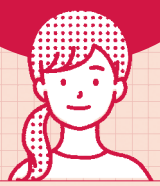
人間は生まれたときは生物学的個体、つまり生物分類学上の霊長類としての「ヒト」でしかありませんが、さまざまな人々との関わりを通して、その社会の文化を習得し、社会的・文化的存在としての「人間」へと発達していきます。こうした発達過程における**社会的・文化的条件、制度的条件、**また**歴史的背景**を研究していくのが教育系であり、発達過程における**心身の機能や構造の発達的変化**を研究していくのが心理系です。しかし発達過程においていろいろな困難や障害、悩みが生じることがあります。こうした**不適応上の問題の原因、治療・援助等**を研究するのが臨床心理系です。本コースでは広く人間の発達に関わる問題を総合的に研究し、教育しています。



学びのケース1

特別支援学校教諭として働きたい

【40代・女性 教員】



学校教育を教育学の面から考えたい

導入科目

- テーマで学ぶ日本教育史（'24）
- 教育の社会学（'25）

学校教育を心理学の面から考えたい

導入科目

- 心理学概論（'24）
- 教育・学校心理学（'20）

特別支援の教育について学びたい

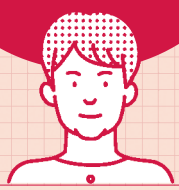
専門科目

- 特別支援教育基礎論（'24）
- 肢体不自由児の教育（'26）
- 知的障害教育総論（'25）
- 特別支援教育総論（'25）

学びのケース2

心理学を体系的に学びたい

【30代・男性 会社員】



大学で学習するための基盤を身につけたい

基盤科目

- 身近な統計（'24）
- 日本語リテラシー（'26）
- 遠隔学習のためのパソコン活用（'25）

心理学の基礎的理論や概論を学びたい

導入科目

- 心理学概論（'24）
- 発達心理学概論（'27）

人間の心の働きを学びたい

専門科目

- 知覚・認知心理学（'23）
- 神経・生理心理学（'26）
- 社会・集団・家族心理学（'26）
- 精神分析とユング心理学（'23）

※の科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上の本コースの開設科目としても取り扱います。

〔科目一覧〕

導入科目

教育の社会学（'25）
現代教育入門（'21）
テーマで学ぶ日本教育史（'24）
教育政策のデザイン（'25）
教育・学校心理学（'20）
心理学概論（'24）
発達心理学概論（'27）
社会福祉ー新しい地平を拓く（'22）※[生活と福祉コースと共用]
博物館概論（'23）※[人間と文化コースと共用]
疾病の成立と回復促進（'25）※[生活と福祉コースと共用]
疾病の回復を促進する薬（'25）※[生活と福祉コースと共用]
社会学概論（'25）※[社会と産業コースと共用]
人体の構造と機能（'26）※[生活と福祉コースと共用]
情報セキュリティと倫理・心得（'26）※[情報コースと共用]
社会調査の基礎（'27）※[社会と産業コースと共用]
総合人類学としてのヒト学（'18）※[人間と文化コースと共用]
貧困の諸相（'23）※[生活と福祉コースと共用]
経営学入門（'24）※[社会と産業コースと共用]
社会統計学入門（'24）※[社会と産業コースと共用]
多文化共生のコミュニケーション（'24）※[人間と文化コースと共用]
睡眠と健康（'25）※[生活と福祉コースと共用]
政治学入門（'26）※[社会と産業コースと共用]
健康への力の探究（'27）※[生活と福祉コースと共用]
日本の近現代（'27）※[人間と文化コースと共用]
共生のための技術者倫理（'24）※[社会と産業コースと共用]
表計算プログラミングの活用（'25）※[情報コースと共用]
ゲーム理論入門（'25）※[情報コースと共用]
社会科学の研究計画作成法（'26）※[社会と産業コースと共用]
Rで学ぶ確率統計（'27）※[情報コースと共用]
表計算プログラミング基礎AI版（'27）※[情報コースと共用]
日本語教育学入門（'24）※[人間と文化コースと共用]

専門科目

学校リスク論（'22）
コミュニティと教育（'24）
肢体不自由児の教育（'26）
今求められる学力と学び（'26）
これからの生徒指導を考える（'27）
多様な子どもの学びと公教育（'27）
乳幼児の保育・教育（'21）
幼児教育の指導法（'22）
日本の文化と教育（'23）
学校と法（'24）
世界の学校（'24）
特別支援教育総論（'25）
知的障害教育総論（'25）
家族と教育（'27）
教育政策と行財政（'27）
教育課程の意義及び編成の方法（'15）
特別支援教育基礎論（'24）
現代のキャリアコンサルティング（'25）
学校事務の新潮流（'26）
幼児理解の理論及び方法（'26）
学校図書館サービス論（'26）
持続可能な社会と教育（ESD）（'27）
生涯学習を考える（'27）
社会教育経営実践論（'22）
生涯学習支援の理論と実践（'22）
日本の教職論（'22）
心理学研究法（'20）
錯覚の科学（'20）
心理学統計法（'21）
知覚・認知心理学（'23）
進化心理学（'23）
学習・言語心理学（'25）
神経・生理心理学（'26）
社会・集団・家族心理学（'26）
産業・組織心理学（'26）
感情・人格心理学（'27）
心理カウンセリング序説（'21）
イメージの力（'24）
ライフサイクルの心理臨床（'26）
認知行動療法（'26）
臨床心理学概論（'20）
福祉心理学（'21）
精神分析とユング心理学（'23）
心理職の専門性（'26）
心理的アセスメント（'26）
司法・犯罪心理学（'26）
障害者・障害児心理学（'27）
心理臨床における法・倫理・制度（'27）
情報社会のユニバーサルデザイン（'19）※[情報コースと共用]
ユーザ調査法（'20）※[情報コースと共用]
子どもの人権をどうまもるのか（'21）※[生活と福祉コースと共用]
教育のためのICT活用（'22）※[情報コースと共用]
メディア論（'22）※[情報コースと共用]
ソーシャルシティ（'23）※[生活と福祉コースと共用]
障害者の自立と制度（'24）※[生活と福祉コースと共用]
フィールドワークと民族誌（'24）※[人間と文化コースと共用]
データの分析と知識発見（'24）※[情報コースと共用]
博物館情報・メディア論（'25）※[人間と文化コースと共用]
博物館展示論（'25）※[人間と文化コースと共用]
人間・環境情報とDX（'25）※[生活と福祉コースと共用]
マーケティング（'25）※[社会と産業コースと共用]
博物館資料保存論（'25）※[人間と文化コースと共用]
生活を支えるコンピュータ技術（'25）※[情報コースと共用]
情報デザイン（'26）※[情報コースと共用]
生物の進化と多様化（'26）※[自然と環境コースと共用]
持続可能な社会のための財政学（'26）※[社会と産業コースと共用]
今日のメンタルヘルス（'27）※[生活と福祉コースと共用]
持続可能な社会へのシステム思考（'27）※[生活と福祉コースと共用]
認知症と生きる（'27）※[生活と福祉コースと共用]
統計学（'19）※[自然と環境コースと共用]
博物館教育論（'22）※[人間と文化コースと共用]
リスクコミュニケーションの探究（'23）※[生活と福祉コースと共用]
現代に生きる現象学（'23）※[人間と文化コースと共用]
博物館経営論（'23）※[人間と文化コースと共用]
情報化社会におけるメディア教育（'24）※[情報コースと共用]
行政学講説（'24）※[社会と産業コースと共用]
リハビリテーション（'25）※[生活と福祉コースと共用]
西洋政治思想の文脈（'25）※[社会と産業コースと共用]
NPO・NGOの世界（'25）※[社会と産業コースと共用]
日本の家族問題を考える（'26）※[生活と福祉コースと共用]
精神疾患とその治療（'26）※[生活と福祉コースと共用]
現代社会のなかの家族（'26）※[生活と福祉コースと共用]
支える社会保障（'26）※[生活と福祉コースと共用]
超高齢社会を生きる（'27）※[生活と福祉コースと共用]
高等教育と障害（'27）※[生活と福祉コースと共用]
イノベーション・マネジメント（'27）※[社会と産業コースと共用]
サービスサイエンス（'27）※[社会と産業コースと共用]
問題解決の数理（'27）※[情報コースと共用]
小学校プログラミング教育概論（'21）※[情報コースと共用]
情報セキュリティの理論と基盤（'23）※[情報コースと共用]
情報セキュリティの現状と展望（'23）※[情報コースと共用]
社会科学で綴る伝記（'25）※[社会と産業コースと共用]
「日本語らしさ」とは何か（'25）※[人間と文化コースと共用]
博物館資料論（'25）※[人間と文化コースと共用]
市民生活と裁判（'26）※[社会と産業コースと共用]
ヒューマンインタフェース（'23）※[情報コースと共用]

総合科目

色を探究する（'23）
レジリエンスの科学（'24）※[生活と福祉コースと共用]
情報技術が拓く人間理解（'27）※[情報コースと共用]
グリーフサポートと死生学（'24）※[生活と福祉コースと共用]
時間を究める（'23）※[人間と文化コースと共用]
空間を考究する（'26）※[人間と文化コースと共用]
AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）※[情報コースと共用]

卒業生が作成した卒業研究テーマの一例

自閉症スペクトラム傾向のある児童・生徒の学習特性／ケアギビング行動システムの内的作業モデルと子育てとの関連／里親養育の課題と支援ー里親に対する心理的支援の必要性について／見えない価値が報われない：当事者から見るデバリュエーション理論の心理学的再検討

course 03

社会と産業コース

〔 学習内容とねらい 〕

社会、自然と人間とのネットワークを探る

本コースは、**法律、政治、社会、経済、経営、会計、環境、デザイン、農業、工学**等の広い領域にわたっています。人が他者との関係をどのように形成するか、自然との間にどのような環境を築くことができるのかを、私たちは考えます。 東日本大震災は、社会の管理能力の限界について多くのことを教えてくれました。これらの経験を生かして、私たちは、**人と人のネットワーク、人と自然のネットワーク**の基本的な性質を理解し、その利点や欠点を見直す必要があります。このような災害や危機を乗り越えるためには、家族関係をはじめとして、コミュニティーとの関係、職場との関係、政府との関係、国際社会との関係、さらには自然環境との関係等、私たちを取り巻く**制度の設計・運営・管理の基本**を、今こそ学ぶべきだと思います。

ビジネス、産業、自然環境、社会環境等の現代社会の問題についての認識を、皆さんと一緒に深めたいと思います。



学びのケース1

スキルアップのため
会社の経営
について学びたい！
【30代・女性 会社員】



仕事と両立して基礎固めをしたい

導入科目
- 社会経済の基礎（'25）
- 共生のための技術者倫理（'24）
- 社会統計学入門（'24）

経営をさまざまな視点から学びたい

専門科目
- 経営情報学入門（'23）
- ファイナンス入門（'23）
- 管理会計（'22）
- 現代の内部監査（'22）

ビジネスに生かせる広い視野を身につけたい

総合科目
- 海からみた産業と日本（'22）
- モビリティとまちづくり（'27）

学びのケース2

市民の暮らしや法律
について学びたい！
【60代・男性 会社員】



社会と政治暮らしのかかわりを知りたい

基盤科目
- 市民自治の知識と実践（'21）
- 社会と産業の倫理（'21）

法律と社会の全体像を捉えたい

導入科目
- 社会学概論（'25）
- 一般市民のための法学入門（'23）

暮らしの法律について学びたい

専門科目
- 行政法（'22）
- 人生100年時代の家族と法（'23）
- 民法（'22）
- 市民生活と裁判（'26）

〔 科目一覧 〕

※の科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上の本コースの開設科目としても取り扱います。

導入科目

社会経済の基礎（'25）
社会調査の基礎（'27）
社会統計学入門（'24）
社会学概論（'25）
社会科学の研究計画作成法（'26）
一般市民のための法学入門（'23）
日本国憲法（'26）
政治学入門（'26）
会社法入門（'27）
経営学入門（'24）
共生のための技術者倫理（'24）
教育の社会学（'25）※［心理と教育コースと共用］
生活経済学（'25）※［生活と福祉コースと共用］
健康への力の探究（'27）※［生活と福祉コースと共用］
西洋哲学の根源（'22）※［人間と文化コースと共用］
健康と社会（'23）※［生活と福祉コースと共用］
貧困の諸相（'23）※［生活と福祉コースと共用］
哲学・思想を今考える（'23）※［人間と文化コースと共用］
情報法入門（'27）※［情報コースと共用］
教育政策のデザイン（'25）※［心理と教育コースと共用］
ゲーム理論入門（'25）※［情報コースと共用］

専門科目

都市と地域の社会学（'24）
災害社会学（'20）
現代経済理論（'26）
持続可能な社会のための財政学（'26）
金融と社会（'26）
日本経済の比較史（'24）
現代国際社会と有機農業（'23）
環境と持続可能な経済発展（'24）
社会科学で綴る伝記（'25）
市民生活と裁判（'26）
刑法と生命（'21）
民法（'22）
行政法（'22）
人生100年時代の家族と法（'23）
国際法（'25）
著作権法（'22）
雇用社会と法（'21）
西洋政治思想の文脈（'25）
全体主義と新自由主義のあいだ（'23）
行政学講説（'24）
日本政治外交史（'25）
現代の国際政治（'26）
ヨーロッパ政治史（'24）
新興アジアの政治と経済（'24）
現代アメリカの政治と社会（'24）
現代のフードシステム（'26）
ＳＤＧｓ下のアジア産業論（'23）
NPO・NGOの世界（'25）
官民の人的資源論（'24）
オペレーションズ・マネジメント（'26）
マーケティング（'25）
ファイナンス入門（'23）
経営情報学入門（'23）
イノベーション・マネジメント（'27）
サービスサイエンス（'27）
サプライチェーン・マネジメント（'25）
企業経営の国際展開（'25）
会計学（'24）
簿記入門（'22）
管理会計（'22）
現代の内部監査（'22）
これからの住まいと建築（'25）
環境を可視化する技術と応用（'23）
コミュニティと教育（'24）※［心理と教育コースと共用］
災害を乗り越える防災基礎力入門（'26）※［生活と福祉コースと共用］
現代社会のなかの家族（'26）※［生活と福祉コースと共用］
支える社会保障（'26）※［生活と福祉コースと共用］
産業・組織心理学（'26）※［心理と教育コースと共用］
近世の日本と世界（'26）※［人間と文化コースと共用］
データの分析と知識発見（'24）※［情報コースと共用］
近現代ヨーロッパの歴史（'22）※［人間と文化コースと共用］
メディア論（'22）※［情報コースと共用］
社会政策の国際動向と日本の位置（'23）※［生活と福祉コースと共用］
ソーシャルシティ（'23）※［生活と福祉コースと共用］
障害者の自立と制度（'24）※［生活と福祉コースと共用］
食と健康（'24）※［生活と福祉コースと共用］
学校と法（'24）※［心理と教育コースと共用］
アメリカ史：世界史の中で考える（'24）※［人間と文化コースと共用］
原典で読む日本の思想（'24）※［人間と文化コースと共用］
西アジアの歴史（'24）※［人間と文化コースと共用］
フィールドワークと民族誌（'24）※［人間と文化コースと共用］
食の安全（'25）※［生活と福祉コースと共用］
人間・環境情報とDX（'25）※［生活と福祉コースと共用］
現代のキャリアコンサルティング（'25）※［心理と教育コースと共用］
日本の家族問題を考える（'26）※［生活と福祉コースと共用］
司法・犯罪心理学（'26）※［心理と教育コースと共用］
ユーラシアのなかの中国史（'26）※［人間と文化コースと共用］
超高齢社会を生きる（'27）※［生活と福祉コースと共用］
持続可能な社会へのシステム思考（'27）※［生活と福祉コースと共用］
家族と教育（'27）※［心理と教育コースと共用］
心理臨床における法・倫理・制度（'27）※［心理と教育コースと共用］
ネットワークとスマート社会（'27）※［情報コースと共用］
問題解決の数理（'27）※［情報コースと共用］

総合科目

海からみた産業と日本（'22）
モビリティとまちづくり（'27）
開発経済学：アジア社会の変容（'24）
環境と社会（'21）
平和学（'27）
空間と政治（'22）
住まいの環境論（'23）
時間を究める（'23）※［人間と文化コースと共用］
地域生活を支える社会福祉と法（'24）※［生活と福祉コースと共用］
情報社会と国際ボランティア活動（'24）※［情報コースと共用］
レジリエンスの科学（'24）※［生活と福祉コースと共用］
空間を考究する（'26）※［人間と文化コースと共用］
中国からジェンダー史を考える（'26）※［人間と文化コースと共用］
情報技術が拓く人間理解（'27）※［情報コースと共用］
AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）※［情報コースと共用］

卒業生が作成した卒業研究テーマの一例

自治会・町内会の在り方とICT利活用－地域活動のデジタル化を進める視点より－／消費者契約法９条１項１号「平均的な損害」に関する整理と分析／自発的不妊手術は法で認められるべきか？「わたしの体は母体じゃない」訴訟から考える／真のフォロワーシップ発揮に個人・組織（リーダー）・社会が成すべきこととは／現代の人工林（林業）と新たな焼畑への挑戦／性別にもとづく支配者と従属者の気質／車両保険金の支払による損害賠償請求権代位の範囲－買替諸費用の裁判例に基づく考察－／新たな社会の構想と芸術－フェリックス・ガタリのエコゾフィーからの考察－

course 04

人間と文化コース

〔 学習内容とねらい 〕

人と自分を学ぶ

人間と文化にはいろいろな分野があります。**哲学、芸術、歴史学、地域文化研究、文学、言語文化、人類学、比較文化**等です。これらの分野は一見、独立しているように見えますが、実はひとつひとつが重なり合って人間の文化を研究するという課題を持っています。ひとつの考え方に捉われず、**総合的に人間の活動を分析し、理解する学問**なので、一般教養に最もふさわしいコースだといえます。

また、さまざまな視点から広くかつ深く学ぶことによって、**実践的な考え方を身につける**ことを目指します。それを通じて自分や自分の周囲を発見し、人類の歴史、文化、社会を知る。まさに人を知り、真の自分を発見する学問といえます。



学びのケース1

改めて
日本の文化
について知りたい
【 60代・女性 主婦 】



日本語で論理的な文章を書きたい

基盤科目
- 日本語リテラシー（'26）
- 日本語リテラシー演習（'27）
- 日本語アカデミックライティング（'22）

日本の文学や歴史を学びたい

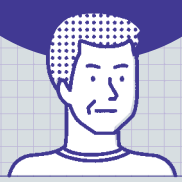
導入科目
- 日本の近現代（'27）
- 『枕草子』の世界（'24）

日本の思想や芸術を知りたい

専門科目
- 文学・芸術・武道にみる日本文化（'19）
- 原典で読む日本の思想（'24）
- 日本美術史の近代とその外部（'18）

学びのケース2

旅行のために
世界の地理や歴史
を学びたい
【 40代・男性 自営業 】



様々な言語を学びたい

基盤科目
- グローバル時代の英語（'22）
- ドイツ語Ⅰ（'27）
- 中国語Ⅰ（'27）

地理や歴史を知るための視座を得たい

導入科目
- 歴史のなかの人間（'22）
- 人文地理学からみる世界（'22）
- 総合人類学としてのヒト学（'18）

世界史について理解を深めたい

専門科目
- 西アジアの歴史（'24）
- 映画芸術への招待（'25）
- ユーラシアのなかの中国史（'26）
- フィールドワークと民族誌（'24）

〔 科目一覧 〕

※の科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上の本コースの開設科目としても取り扱います。

導入科目

哲学・思想を今考える（'23）
西洋哲学の根源（'22）
歴史のなかの人間（'22）
日本の近現代（'27）
『枕草子』の世界（'24）
世界文学への招待（'22）
日本語学入門（'20）
日本語教育学入門（'24）
多文化共生のコミュニケーション（'24）
人文地理学からみる世界（'22）
総合人類学としてのヒト学（'18）
博物館概論（'23）
政治学入門（'26）※［社会と産業コースと共用］
心理学概論（'24）※［心理と教育コースと共用］
宮沢賢治と宇宙（'24）※［自然と環境コースと共用］
情報セキュリティと倫理・心得（'26）※［情報コースと共用］

専門科目

文学・芸術・武道にみる日本文化（'19）
原典で読む日本の思想（'24）
時間と存在（'27）
現代に生きる現象学（'23）
英米哲学の挑戦（'23）
西洋の美学・美術史（'24）
日本美術史の近代とその外部（'18）
西洋音楽史（'21）
舞台芸術の世界（'26）
映画芸術への招待（'25）
古代中世の日本（'23）
近世の日本と世界（'26）
史書から見る中国史（'27）
ユーラシアのなかの中国史（'26）
西アジアの歴史（'24）
中近世ヨーロッパの歴史（'27）
近現代ヨーロッパの歴史（'22）
アメリカ史：世界史の中で考える（'24）
樋口一葉の世界（'23）
『方丈記』と『徒然草』（'18）
文学批評の現在（'27）
世界文学の古典を読む（'20）
ヨーロッパ文学の読み方―近代篇（'19）
「日本語らしさ」とは何か（'25）
言語研究法（'19）
フィールドワークと民族誌（'24）
「人新世」時代の文化人類学（'20）
博物館教育論（'22）
博物館資料論（'25）
博物館資料保存論（'25）
博物館展示論（'25）
博物館情報・メディア論（'25）
博物館経営論（'23）
日本の文化と教育（'23）※［心理と教育コースと共用］
全体主義と新自由主義のあいだ（'23）※［社会と産業コースと共用］
西洋政治思想の文脈（'25）※［社会と産業コースと共用］
日本政治外交史（'25）※［社会と産業コースと共用］
新興アジアの政治と経済（'24）※［社会と産業コースと共用］
ヨーロッパ政治史（'24）※［社会と産業コースと共用］
現代の国際政治（'26）※［社会と産業コースと共用］
メディア論（'22）※［情報コースと共用］
世界の学校（'24）※［心理と教育コースと共用］
現代アメリカの政治と社会（'24）※［社会と産業コースと共用］
記号論理学（'24）※［情報コースと共用］
社会科学で綴る伝記（'25）※［社会と産業コースと共用］
数学の歴史（'25）※［自然と環境コースと共用］

総合科目

中国からジェンダー史を考える（'26）
時間を究める（'23）
空間を考究する（'26）
色を探究する（'23）※［心理と教育コースと共用］
平和学（'27）※［社会と産業コースと共用］

卒業生が作成した卒業研究テーマの一例

AI翻訳の活用方法と、これからの翻訳者の役割についての再考／北条兼時の生涯ー得宗家における宗頼流の立場ー／打ち言葉「Vてもろて」の意味拡張過程と展開／中原中也にとって詩の翻訳とは何だったのかー『ランボオ詩集』を手掛りとしてー／ディストピアに対抗するケイパビリティ　浦沢直樹『MONSTER』の選択理論的読解／建安時代の疫鬼避け：曹植「説疫気」を中心に／アメリカにおけるモダン・デザインの交差／「手掛かりなし標本」の史実的・学術的価値の考察：大型菌類標本の事例を中心に

course 05

情報コース

〔 学習内容とねらい 〕

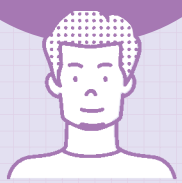
人と知をつなぐ

本コースでは、現代社会において重要さを増している情報について学びます。情報について学ぶことのひとつの側面として、「情報を知る」ということが挙げられます。まず、コンピューターや通信システム、それらを動かすソフトウエアの仕組みや処理される**情報の性質を理解する**ことです。次に、これら技術的なことだけでなく、**情報や情報通信技術と人間や社会とのかかわり**を知ることです。例えば、インターネット、モバイル通信の普及による生活の変化、著作権や個人情報保護といった法や倫理の問題が対象になります。もうひとつの側面として「情報で知る」ということが挙げられます。自然や社会といった対象をモデル化して、分析したり予測したりすることにより、その対象について理解するための方法を身につけることです。本コースでは、**「ソフトウエア」「情報数理」「マルチメディア」「ヒューマン」「情報基盤」**という5つの領域を用意しています。単に情報処理の技術を学ぶだけではなく、**情報という視点からさまざまな問題を解決する術**を身につけることを目指します。



学びのケース1

仕事に役立てるため
プログラミング
を学びたい！
【 30代・男性 会社員 】



情報社会の全体像を知りたい

導入科目
- 情報ネットワーク（'26）
- 情報理論とデジタル表現（'19）

実践的な知識を身につけたい

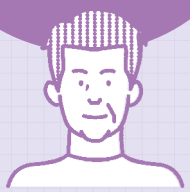
専門科目
- データ構造の基礎（'24）
- C言語基礎演習（'20）
- デジタル情報の処理と認識（'22）
- コンピュータグラフィックス（'22）

別の視点からも学びたい

総合科目
- 情報技術が拓く人間理解（'27）

学びのケース2

事業拡大のため
通信システム
について学びたい！
【 50代・男性 会社経営 】



メディアの特性について学びたい

導入科目
- 情報法入門（'27）

通信システムについて知りたい

専門科目
- コンピュータ通信概論（'24）
- ネットワークとスマート社会（'27）

情報社会の将来について考えたい

総合科目
- 情報社会と国際ボランティア活動（'24）
- AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）

〔 科目一覧 〕

※の科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上の本コースの開設科目としても取り扱います。

導入科目

初歩からの情報科学（'25）
プログラミング入門 Python（'24）
表計算プログラミングの活用（'25）
表計算プログラミング基礎 AI 版（'27）
情報ネットワーク（'26）
情報セキュリティと倫理・心得（'26）
情報法入門（'27）
英語で学ぶ情報学の歩み（'27）
情報理論とデジタル表現（'19）
Rで学ぶ確率統計（'27）
ゲーム理論入門（'25）
社会統計学入門（'24）※［社会と産業コースと共用］
社会調査の基礎（'27）※［社会と産業コースと共用］
入門微分積分（'22）※［自然と環境コースと共用］
共生のための技術者倫理（'24）※［社会と産業コースと共用］
社会科学の研究計画作成法（'26）※［社会と産業コースと共用］

専門科目

データ構造の基礎（'24）
生活を支えるコンピュータ技術（'25）
ソフトウェア開発入門（'27）
C言語基礎演習（'20）
続・C言語基礎演習（'23）
Webのしくみと応用（'25）
ソフトウェア開発のデータ分析（'26）
ネットワークとスマート社会（'27）
データベース（'23）
情報セキュリティの理論と基盤（'23）
情報セキュリティの現状と展望（'23）
プログラムとアルゴリズムの基礎（'26）
コンピュータ通信概論（'24）
教育のためのICT活用（'22）
ユーザ調査法（'20）
情報社会のユニバーサルデザイン（'19）
メディア論（'22）
情報化社会におけるメディア教育（'24）
小学校プログラミング教育概論（'21）
ヒューマンインタフェース（'23）
コンピュータグラフィックス（'22）
映像コンテンツの制作技術（'25）
デジタル情報の処理と認識（'22）
自然言語処理（'23）
情報デザイン（'26）
コンピュータビジョン（'22）
画像処理（'24）
問題解決の数理（'27）
データの分析と知識発見（'24）
記号論理学（'24）
数値の処理と数値解析（'22）
数理最適化法演習（'20）
解析入門（'24）※［自然と環境コースと共用］
統計学（'19）※［自然と環境コースと共用］
心理学統計法（'21）※［心理と教育コースと共用］
著作権法（'22）※［社会と産業コースと共用］
経営情報学入門（'23）※［社会と産業コースと共用］
ソーシャルシティ（'23）※［生活と福祉コースと共用］
環境を可視化する技術と応用（'23）※［社会と産業コースと共用］
人間・環境情報とDX（'25）※［生活と福祉コースと共用］
サプライチェーン・マネジメント（'25）※［社会と産業コースと共用］
博物館情報・メディア論（'25）※［人間と文化コースと共用］
オペレーションズ・マネジメント（'26）※［社会と産業コースと共用］
線型代数学（'27）※［自然と環境コースと共用］

総合科目

情報社会と国際ボランティア活動（'24）
AI技術を人と社会へとつなぐ（'27）
情報技術が拓く人間理解（'27）

卒業生が作成した卒業研究テーマの一例

字幕付き落語会の実施とその効用の評価／百人一首の機械学習による分類／アオサギ、ダイサギをモデルとした画像による鳥類個体識別、近縁種への応用／VR空間におけるレイキャストとハンドトラッキングによるポインティングの比較／カノープスの観測余裕度の算出および可視化／発達障害のある成人の放送大学での学びについて／大規模言語モデルと文化の多様性

course 06

自然と環境コース

〔 学習内容とねらい 〕

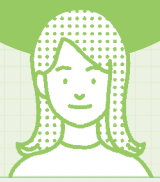
自然と人の接点を学ぶ

本コースは、大きく分けると、**「生命・生態系」、「物質・エネルギー系」、「宇宙・地球系」、「数理系」**の分野から成り立っていて、主として**自然を相手にして科学を学ぶ**コースです。生物学、物理学、化学、天文学、地球科学、数学に加えて、エネルギー問題や生態系等の広い分野を、なるべく**楽しく学べる**ように工夫しています。基盤・導入科目として、**「初歩からの…学」**を多くの分野について用意しましたので、自然科学について、取っつきにくいと思っている人、初めて学ぶ人、大学での講義についていけない人たちはぜひ履修して**基礎を理解**し、その後で導入科目や専門科目に進みましょう。これまでもそうでしたが、これからも日本の進む道は、自然科学の理解に基づいたモノ作りと環境対策の開発にかかっています。しっかり学びましょう。そして、疑問や分からないことがあったら遠慮なく質問してください。地味な努力こそ、**科学の理解を前進させ、深化させる道**です。



学びのケース1

博士号を視野に入れ
環境問題
について学びたい
【30代・女性 主婦】



環境問題について知りたい

導入科目
- 生物環境の科学 ('25)
- 初歩からの化学 ('18)

環境と科学の関わりについて学びたい

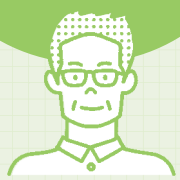
専門科目
- 分子と細胞の生物学 ('27)
- ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学('26)
- 植物の科学 ('21)

環境以外にも総合的に科学を学びたい

総合科目
- 暮らしに役立つバイオサイエンス('27)

学びのケース2

宇宙や太陽系の
自然科学
について学びたい
【70代・男性 定年退職者】



理科や数学の基礎知識を学び直したい

基盤科目
- 自然科学はじめの一歩 ('22)
- 初歩からの数学 ('18)
- 演習初歩からの数学 ('20)

自然科学の基礎を学びたい

導入科目
- 初歩からの生物学 ('24)
- 初歩からの物理 ('22)
- ダイナミックな地球 ('21)

太陽系や宇宙についての知識を深めたい

専門科目
- 宇宙の誕生と進化 ('19)
- 太陽と太陽系の科学 ('18)
- 初歩からの気象学 ('27)

〔 科目一覧 〕

※の科目は他コース開設科目ですが、卒業要件上の本コースの開設科目としても取り扱います。

導入科目

初歩からの生物学 ('24)
生物環境の科学 ('25)
初歩からの物理 ('22)
初歩からの化学 ('18)
物理の世界 ('24)
かたちの化学ー化学の考え方入門 ('23)
現代を生きるための化学 ('22)
物理と化学のための数学 ('27)
分子の変化からみた世界 ('23)
宮沢賢治と宇宙 ('24)
ダイナミックな地球 ('21)
入門線型代数 ('19)
入門微分積分 ('22)
演習微分積分 ('19)
感染症と生体防御 ('24) ※[生活と福祉コースと共用]
人体の構造と機能 ('26) ※[生活と福祉コースと共用]
博物館概論 ('23) ※[人間と文化コースと共用]
プログラミング入門Python ('24) ※[情報コースと共用]
疾病の回復を促進する薬 ('25) ※[生活と福祉コースと共用]
表計算プログラミングの活用 ('25) ※[情報コースと共用]
ゲーム理論入門 ('25) ※[情報コースと共用]

専門科目

分子と細胞の生物学 ('27)
生物の進化と多様化 ('26)
植物の科学 ('21)
感覚と応答の生物学 ('23)
力と運動の物理 ('27)
電気と磁気の物理 ('26)
量子の物理 ('27)
量子化学 ('19)
ミクロとマクロを繋ぐ熱統計力学 ('26)
量子物理演習 ('24)
宇宙の誕生と進化 ('19)
太陽と太陽系の科学 ('18)
地球と環境の探究 ('25)
初歩からの気象学 ('27)
正多面体と素数 ('21)
微分方程式 ('23)
統計学 ('19)
数学の歴史 ('25)
線型代数学 ('27)
解析入門 ('24)
食と健康 ('24) ※[生活と福祉コースと共用]
データ構造の基礎 ('24) ※[情報コースと共用]
錯覚の科学 ('20) ※[心理と教育コースと共用]
数値の処理と数値解析 ('22) ※[情報コースと共用]
環境を可視化する技術と応用('23)※[社会と産業コースと共用]
データベース ('23) ※[情報コースと共用]
環境と持続可能な経済発展('24)※[社会と産業コースと共用]
記号論理学 ('24) ※[情報コースと共用]
データの分析と知識発見 ('24) ※[情報コースと共用]
画像処理 ('24) ※[情報コースと共用]
食の安全 ('25) ※[生活と福祉コースと共用]
博物館展示論 ('25) ※[人間と文化コースと共用]
博物館情報・メディア論 ('25) ※[人間と文化コースと共用]
博物館資料保存論 ('25) ※[人間と文化コースと共用]
博物館資料論 ('25) ※[人間と文化コースと共用]
プログラムとアルゴリズムの基礎('26)※[情報コースと共用]

総合科目

暮らしに役立つバイオサイエンス ('27)
ジオストーリー ('25)
時間を究める ('23) ※[人間と文化コースと共用]
色を探究する ('23) ※[心理と教育コースと共用]
レジリエンスの科学 ('24) ※[生活と福祉コースと共用]
空間を考究する ('26) ※[人間と文化コースと共用]
情報技術が拓く人間理解 ('27) ※[情報コースと共用]

卒業生が作成した卒業研究テーマの一例

都市緑地の形状と鳥類の種組成の関係／触覚刺激の強度が対記憶した視覚刺激の想起に及ぼす影響ー自閉傾向との関連ー／恐竜の色はどんな色ー『恐竜から見える』恐竜の色についての考察ー／遺伝子から見たケシ属におけるモルヒネ生合成経路の違いについて／今、なぜ小水力発電なのか - 日欧の地理的文化的比較から -

資格取得でキャリアアップ！

修得した単位をさまざまな資格取得に生かすことができます。

教員
に関する資格

放送大学には教職課程がないため、**教員免許状をお持ちでない方が本学の単位だけで新たに教員免許状を取得することはできません。**



対象：現職教員の方

- 上位の免許状
- 他教科の免許状
- 隣接校種の免許状
- 特別支援学校教諭免許状
  （知的障害者教育領域・肢体不自由者教育領域）
- 栄養教諭免許状
- 養護教諭の上位免許状
- 幼稚園教諭免許状（特例制度）
- 司書教諭の資格

看護師
に関する資格



対象：看護系の短大を卒業する等の基礎資格をお持ちの方

- 学士（看護学）の学位取得

対象：准看護師の方

- 看護師国家試験の受験資格

心理学
に関する資格



- 認定心理士の資格取得
- 公認心理師の受験資格の一部（学部段階のみ対応）
- 臨床心理士の受験資格（大学院）

その他
資格・講習・
入学資格・受験資格

こちらの資格には、一部のみ対応しているものがあります。
詳しくは、本学ウェブサイトを確認してください。



- 学芸員　社会教育主事
- 社会福祉主事
- 介護教員講習会
- 国家試験受験資格
  （税理士・社会保険労務士・保育士・
  甲種危険物取扱者）
- 臨床工学技士専攻科受験資格

教員
に関する資格・講習

現職教員の方が、教育職員検定を利用して教員免許状を取得する際に必要な単位の一部または全てを修得することができます。

- 放送大学には教職課程がないため、本学の単位だけで新たに教員免許状を取得することはできませんので注意してください。
- 「教育職員検定」とは、各都道府県教育委員会が、人物、学力、実務および身体について検定を行い、教員免許状を授与するものです。

取得できる免許状と放送大学でできること

上位・他教科・隣接校種の免許状	上位の免許状（養護教諭を含む）や、他教科、隣接校種の免許状取得を目指す場合に、必要な科目の一部または全てを履修できます（専修免許状については大学院の単位を修得することが必要です）。
特別支援学校教諭免許状	幼・小・中・高いずれかの普通免許状を有し、在職期間3年を満たす方で、放送大学で所定の単位（3〜4科目・6〜8単位）を修得すれば申請できます。
栄養教諭免許状	栄養教諭は、食に関する指導と学校給食の管理を職務として、各都道府県教育委員会の判断により小中学校等の義務教育諸学校に置かれるものです。放送大学では、免許状の取得に必要な科目の一部を履修できます（現に学校栄養職員として勤務している必要があります）。
幼稚園教諭免許状（特例制度利用）	保育士の資格を持ち、所定の在職経験を有する方が、大学で8単位を修得すれば幼稚園教諭免許状を取得することができる特例制度が施行されました。〔特例期間：2030年3月まで〕放送大学では、この特例制度で必要となる科目の全て（5科目・8単位）を開設しています。

※上記教員に関する冊子『教員免許状及び各種資格について』は、学習センターにも用意しております。
※それぞれの対応科目は、冊子『教員免許状及び各種資格について』で確認をしてください。

● 取得までの流れ

各都道府県教育委員会へ事前確認 → 放送大学へ出願（科目登録）、所定の単位を修得 → 各都道府県教育委員会へご自身で申請 → 合格・免許状を取得

まずは確認を！
申請先の都道府県教育委員会に、各免許状取得に必要な在職年数・修得単位数・放送大学の科目の利用の可否について確認してください。

こんな講習もやっています！

＼ 全て自宅で受講 ／

学校図書館司書教諭講習
司書教諭の資格が取得できます

既に教員免許状をお持ちの方、あるいは大学に在学中の学生が、講習で所定の単位を修得し、講習の修了証書と教員免許状を併せ持つことにより司書教諭の資格が取得できます。

＼ 社会教育主事講習を開設！ ／

社会教育主事講習
社会教育士（講習）の称号も取得できます

社会教育主事となる資格を得るために、「修得すべきすべての科目を既に修得している方」および「新たに修得を希望する方」を受講対象とします。講習を修了し、所定の単位を修得した方は「社会教育士（講習）」と称することができます。

看護師
に関する資格

学士（看護学）の学位取得

大学改革支援・学位授与機構の学位授与制度を利用して学士の学位を取得することができます。2年制・3年制の短大や専門学校等を卒業（修了）した方のために、学位申請に必要な専門科目や関連科目を開設しています。

※制度の詳細につきましては、大学改革支援・学位授与機構発行の「新しい学士への途」等で、確認してください。学位授与機構のウェブサイト、または専用電話でお取り寄せが可能です。

対象
看護系の短大等を卒業するなどの基礎資格を所持している方

●該当する基礎資格に対する放送大学での修得単位

該当する基礎資格	本学での修得単位
看護系短期大学卒業（修業年限2年）	**2年以上**にわたって**62単位以上**修得
看護系専修学校専門課程修了（修業年限2年以上でかつ、課程修了に必要な総授業時間数が1,700単位時間以上）	
看護系高等学校等専攻科修了（修業年限2年）	
看護系短期大学卒業（修業年限3年）	**1年以上**にわたって**31単位以上**修得
看護系専修学校専門課程修了（修業年限3年以上でかつ、課程修了に必要な総授業時間数が2,550単位時間以上）	

卒業（修了）された短期大学や専修学校、高等学校等専攻科が「基礎資格を有する者に該当する学校」かどうかは、同じ学校でも学科や卒業年度により異なります。必ず出身校に確認してください。

●取得までの流れ(注1)

出身校による**基礎資格の確認** → 放送大学で積み上げ**単位の一部を修得** → **「学修成果」（レポート）を作成** → **大学改革支援・学位授与機構へ申請**(注2) → **試験（小論文）・審査** → **合格・学士（看護学）の学位取得**

（注1）詳細は、冊子『学士（看護学）の取得をめざすために』を確認してください。

（注2）全科履修生在学中は申請できません。

＼厚生労働省推奨／

看護師国家試験の受験資格

准看護師として5年以上の就業経験を有し、看護師学校養成所2年課程（通信制）に入学して68単位以上を修得して卒業すると、看護師国家試験を受験することができます。その際、放送大学で修得した単位を各養成所の判断により、総修得単位の2分の1を超えない範囲で当該養成所において修得したものとして認定を受けることができます。

※養成所入学前に、あらかじめ放送大学で単位を修得しておくこともできます（放送大学へは、5年以上の就業経験を満たす前でも入学できます）。

対象
准看護師の方

●取得までの流れ

5年以上の就業経験 ＋ **放送大学へ出願（科目登録）して所定の単位を修得**、**看護師学校養成所2年課程（通信制）に入学、所定の単位を修得** → **看護師国家試験** → **合格・看護師免許を取得**

※詳細は、上記に関するパンフレット『准看護師から看護師国家試験の受験を目指しませんか？』を確認してください。

心理学
に関する資格

認定心理士の資格取得

＼ 資格申請者 16,300人以上（2025年度累計） ／

認定心理士は、心理学に関する標準的基礎知識と基礎技術を修得していることを「公益社団法人日本心理学会」が認定する資格です。資格取得に必要な単位は、全て放送大学で満たすことができます。詳細はウェブサイトまたは学習センターで配布している冊子を確認してください。

認定心理士単位作成表ツールが便利！

放送大学オリジナル！

・履修計画の参考に
・認定単位数の確認

詳しくは本学ウェブサイトへ。



●取得までの流れ

放送大学

16歳以降通算2年以上日本国に滞在した経験を有する
＋
大学（大学院）を卒業（修了）し、学士（修士）の学位を取得
＋
大学（大学院）で所定の36単位以上を修得（注1）

→ 公益社団法人 日本心理学会に申請 → 認定心理士の資格取得

（注1）大学院の科目が利用できるのは、一部の領域のみです。
※詳細は、冊子『認定心理士資格取得の手引き』を確認してください。

心理学実験系科目について

面接授業およびライブWeb授業には受講定員が設けられています。定員を上回る科目登録申請があった場合は抽選となり、計画どおりに履修できない可能性もありますので、出願にあたりご注意ください。

公認心理師の受験資格の一部（学部段階のみ）

2019年度より ＼ 開設しています ／

公認心理師は、2015年に成立した「公認心理師法」に基づく、心理職の国家資格です。放送大学では受験資格を得るための学部段階のカリキュラムを開設しています（大学院のカリキュラムには対応しておりません）。

履修が求められている「大学における必要な科目」のうち、「心理演習」「心理実習」を受講するには、選考試験があります。（受講者定員は全体で30名。直近の出願倍率は16.2倍。）

●取得までの流れ

放送大学教養学部
全ての「大学における必要な科目」を修得し、卒業要件を満たして卒業

→ 大学院修士課程：公認心理師カリキュラムに対応する他大学院で、全ての「大学院における必要な科目」を修得して修了
→ 2年以上の実務経験：法の規定する認定施設での実務経験2年以上

→ 公認心理師国家試験 → 合格・公認心理師資格取得

※公認心理師の受験資格について、詳しくは放送大学公認心理師ウェブサイトおよび公認心理師学部段階カリキュラムリーフレットを確認してください。
※「経過措置ルート」で受験資格を満たすことができる場合があります。詳しくは、放送大学公認心理師ウェブサイトを確認してください。

臨床心理士の受験資格取得

＼ 合格率 75.3%（過去3年間の実績平均）（過去3年間の全国平均66.4%） ／

臨床心理士は、臨床心理学の知識や技術を用いて心理的な問題を扱う専門家です。内閣府が認可する「公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会」が資格認定しています。文部科学省が実施する「スクールカウンセラー」として派遣されるなど、さまざまな領域で活躍できる資格です。

大学院修士課程への入学が必要です

この資格は放送大学教養学部の単位では取得できません。修士全科生として「臨床心理学プログラム」を修了した上で、1年以上の心理臨床実務経験を経ると、受験資格を得られます。

●取得までの流れ

放送大学

大学院修士全科生修了（臨床心理学プログラム）
＋
1年以上の実務経験
＝ 「臨床心理士」受験資格を取得

→ 「臨床心理士」資格審査 → 合格・臨床心理士資格取得

施設案内

全都道府県の57カ所に学習センターやサテライトスペースを設置。
その他さまざまな施設も用意しています。

学習センター・サテライトスペース



全国にある放送大学のキャンパスです。修学支援、面接授業(スクーリング)会場、単位認定試験会場等の役割を担っています。学生は入学時に必ずどこかの学習センターまたはサテライトスペース※に所属します。普段の学習は所属先以外の学習センターも利用することができます。※サテライトスペースとは、学習センターのブランチ・センターとしての役割を持つ学習施設です。

- 面接授業(スクーリング)の受講
- 単位認定試験の受験
- 学生証や証明書の取得
- 学習相談
- ゼミ・勉強会への参加
- 機関紙の取得
- 研修旅行への参加
- 学生団体(サークル)活動や交流
- 文化祭への参加

全国の学習センター・サテライトスペース一覧

※学習センター等の利用時は、予め開所時間等について、学習センターのWebサイトを確認の上、お越しください。

北海道

北海道学習センター 011-736-6318
札幌市北区北17条西8丁目（北海道大学札幌キャンパス情報教育館5・6階）

旭川サテライトスペース 0166-22-2627
旭川市常磐公園（旭川市常磐館内）

東北

青森学習センター 0172-38-0500
弘前市駅前町9-20（ヒロロ4階）

八戸サテライトスペース 0178-70-1663
八戸市一番町1-9-22（ユートリー4階）

岩手学習センター 019-653-7414
盛岡市上田3-18-8（岩手大学図書館3・4階）

宮城学習センター 022-224-0651
仙台市青葉区片平2-1-1（東北大学片平キャンパス内）

秋田学習センター 018-831-1997
秋田市手形学園町1-1（秋田大学手形キャンパス研究・イノベーション拠点2号館4階）

山形学習センター 023-646-8836
山形市城南町1-1-1（霞城セントラル10階）

福島学習センター 024-921-7471
郡山市桑野1-22-21（郡山女子大学 もみじ館内）

いわきサテライトスペース 0246-22-7318
いわき市平字菱川町1-3（いわき市社会福祉センター4階）

関東

茨城学習センター 029-228-0683
水戸市文京2-1-1（茨城大学水戸キャンパス環境リサーチラボラトリー2・3階）

栃木学習センター 028-632-0572
宇都宮市峰町350（宇都宮大学峰キャンパス附属図書館1･2階）

群馬学習センター 027-230-1085
前橋市若宮町1-13-2

埼玉学習センター 048-650-2611
さいたま市大宮区錦町682-2（JACK大宮ビル8・9階）

千葉学習センター 043-298-4367
千葉市美浜区若葉2-11（放送大学本部敷地内）

東京渋谷学習センター 03-5428-3011
東京都渋谷区代々木神園町3-1（オリンピック記念青少年総合センター センター棟5階512）

東京文京学習センター 03-5395-8688
文京区大塚3-29-1（筑波大学東京キャンパス文京校舎内）

東京足立学習センター 03-5244-2760
足立区千住5-13-5（学びピア21（6階））

東京多摩学習センター 042-349-3467
小平市学園西町1-29-1（一橋大学小平国際キャンパス国際共同研究センター3・4階）

神奈川学習センター 045-710-1910
横浜市南区大岡2-31-1

甲信越・北陸

新潟学習センター 025-228-2651
新潟市中央区旭町通1番町754（新潟大学旭町キャンパス医歯学図書館4〜6階）

富山学習センター 0766-56-9230
射水市黒河5180（富山県立大学情報基盤センター3階）

石川学習センター 076-246-4029
野々市市扇が丘7-1（金沢工業大学扇が丘キャンパス9号館）

福井学習センター 0776-22-6361
福井市手寄1丁目4-1（AOSSA 7階）

山梨学習センター 055-251-2238
甲府市武田4-4-37（山梨大学甲府キャンパス総合研究棟Y号館隣接建物内）

長野学習センター 0266-58-2332
諏訪市諏訪1丁目6番1号（アーク諏訪3階）

東海

岐阜学習センター 058-273-9614
岐阜市薮田南5-14-53（OKBふれあい会館第2棟2階）

静岡学習センター 055-989-1253
三島市文教町1-3-93（静岡県立三島長陵高等学校2階）

浜松サテライトスペース 053-453-3303
浜松市中央区早馬町2-1（クリエート浜松2・4階）

愛知学習センター 052-589-8333
名古屋市西区則武新町3丁目1番17号（BIZrium名古屋5階）

放送大学附属図書館（大学本部敷地内）







豊富な本部図書館の蔵書は自宅や学習センター・サテライトスペースへ取り寄せることもできます。多数の電子ブック・電子ジャーナルも利用できます。

- **図書の貸し出し 文献複写**
- **自宅配送サービス**
- **オンラインでの所蔵検索**
- **所属学習センターへの書籍の取り寄せ**

詳しくは、附属図書館Webサイト（https://lib.ouj.ac.jp/）を確認してください。

国立美術館の利用特典があります

放送大学では、国立美術館キャンパスメンバーズへ加入しているため、学生の方は各美術館において所蔵作品展無料観覧および特別展、共催展割引観覧等の特典が受けられます。

〈 利用できる美術館 〉

- 東京国立近代美術館
- 京都国立近代美術館
- 国立西洋美術館
- 国立国際美術館
- 国立新美術館
- 国立映画アーカイブ

東海

三重学習センター 059-233-1170
津市一身田上津部田1234（三重県総合文化センター生涯学習棟4階）

近畿

滋賀学習センター 077-545-0362
大津市瀬田大江町横谷1-5（龍谷大学びわ湖大津キャンパス内4号館1階）

京都学習センター 075-371-3001
京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939（キャンパスプラザ京都3階）

大阪学習センター 06-6773-6328
大阪市天王寺区南河堀町4-88（大阪教育大学天王寺キャンパス中央館6・7階）

兵庫学習センター 078-805-0052
神戸市灘区六甲台町2-1（神戸大学六甲台第1キャンパスアカデミア館6・7階）

姫路サテライトスペース 079-284-5788
姫路市本町68-290（イーグレひめじ地下2階）

奈良学習センター 0742-20-7870
奈良市北魚屋東町（奈良女子大学コラボレーションセンター3階）

和歌山学習センター 073-431-0360
和歌山市西高松1-7-20（和歌山大学松下会館内）

中国

鳥取学習センター 0857-37-2351
鳥取市富安2-138-4（鳥取市役所駅南庁舎5階）

中国

島根学習センター 0852-28-5500
松江市白潟本町43（スティックビル4階）

岡山学習センター 086-254-9240
岡山市北区津島中3-1-1（岡山大学津島キャンパス文化科学系総合研究棟5・6階）

広島学習センター 082-247-4030
広島市中区東千田町1-1-89（広島大学東千田キャンパス東千田総合校舎3・4階）

福山サテライトスペース 084-991-2011
福山市霞町1-10-1（まなびの館ローズコム3階）

山口学習センター 083-928-2501
山口市吉田1677-1（山口大学吉田キャンパス大学会館内）

四国

徳島学習センター 088-602-0151
徳島市新蔵町2-24（徳島大学新蔵キャンパス日亜会館3階）

香川学習センター 087-837-9877
高松市幸町1-1（香川大学幸町北キャンパス研究交流棟7・8階）

愛媛学習センター 089-923-8544
松山市文京町3（愛媛大学城北キャンパス総合情報メディアセンター棟3・4階）

高知学習センター 088-843-4864
高知市曙町2-5-1（高知大学朝倉キャンパスメディアの森内）

九州・沖縄

福岡学習センター 092-585-3033
春日市春日公園6-1（九州大学筑紫キャンパス内E棟4・5階）

北九州サテライトスペース 093-645-3201
北九州市八幡西区黒崎3-15-3（コムシティ3階）

佐賀学習センター 0952-22-3308
佐賀市天神3-2-11（アバンセ4階）

長崎学習センター 095-813-1317
長崎市文教町1-14（長崎大学文教キャンパス内）

熊本学習センター 096-341-0860
熊本市中央区黒髪2-40-1（熊本大学附属図書館南棟2・3階）

大分学習センター 0977-67-1191
別府市北石垣82（別府大学別府キャンパス39号館2階）

宮崎学習センター 0982-53-1893
日向市本町11-11（日向市役所北隣）

鹿児島学習センター 099-239-3811
鹿児島市山下町14-50（カクイックス県民交流センター西棟4階）

沖縄学習センター 098-895-5952
中頭郡西原町字千原1（琉球大学地域国際学習センター棟4・5階）

■ ほかにも全国39カ所（2026年4月1日現在）に再視聴施設があります。

所在地その他、詳細はこちら　放送大学 再視聴施設　検索

入学を希望する方へ

視聴方法や入学について等
各種情報を掲載しています。

授業の視聴方法

放送授業
BSテレビ放送（BS231ch・BS232ch）

リモコンで「BS」を押し、BS放送に切り替えてください。

視聴方法

1. リモコンのチャンネルボタンで選局
2. 電子番組表（EPG）から選択
3. 3桁のチャンネル番号を入力

放送授業
ひかりTV

テレビ科目は、映像配信サービスの「ひかりTV」でも視聴できます（ラジオ科目の聴取はできません）。

※詳しくは
https://www.hikaritv.net/entry?cid=ouj
をご覧ください。

放送授業
BSラジオ放送（BS531ch）

テレビでお聴きいただく音声放送です。画面には番組名が静止画で表示されます。
リモコンで「BS」を押し、BS放送に切り替えてください。

聴取方法

a. BSテレビの放送大学のデータ放送から切り替える（左記BSテレビ放送の1～3いずれかの方法でテレビ放送大学を選局し、「d（データ）ボタン」→青ボタンの順に押す）
b. 3桁のチャンネル番号を入力

面接授業（スクーリング）

学習センター等で講師から直接授業を受けられます。

放送授業
インターネット配信

開講期間中、原則全ての放送授業の番組をインターネット配信しますので、パソコンやスマートフォン等で視聴できます（一部インターネット配信限定で視聴する科目があります）。

※映像・音声をパソコン等に保存することはできません。

※接続の際の通信費やプロバイダー料金などは利用者ご負担となりますので、注意してください。

オンライン授業

インターネット上で講義を受講し、選択式問題やディスカッション、レポート等の学習活動を行います。
リアルタイムで受講するライブWeb授業も実施しています。

※ご自身のパソコンやネットワーク環境で問題なく学習できるか、科目登録の前に必ずオンライン授業体験版https://online-open.ouj.ac.jpで確認してください。
※学習センター等のパソコンは原則利用できません。

● 放送授業は、放送授業を収録したDVD・CDの郵送貸し出しを行っています（一部インターネット配信限定で視聴する科目を除く）。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学の教育理念である、広く国民に高等教育の機会を提供することを達成するために、入学試験を行わず、以下のような学生を求める。
1．入学後の学習内容を理解できる、高等学校卒業程度の知識と能力を有していること。
2．メディアを活用した学修に積極的に取り組む意欲とその持続力があること。
また、本学における学習をより効果的なものとするため、入学にあたっては以下のことが望まれる。
・多様な背景をもつ学生と共に学ぶ姿勢をもつこと。
・入学前に学習意欲を高めるために、本学が公開している授業科目を受講すること。

入学

■ 出願手続き

放送大学は、2学期制（4月～9月、10月～3月）を採用しており、年2回（4月・10月）入学の機会があります。入学者の選考は、書類により行い、学力試験は行いません。

■ 障がいのある方で修学支援を希望される方

本学では、障がいのある方に、障がいの特性等に応じた修学支援（本学では「修学上の合理的配慮」と言います）を行っています。
修学上の合理的配慮を希望される方は、出願前に学習センターで事前面談を行い、障がいの特性や大学側の状況などを勘案し、両者が相談・協議の上、合理的配慮の内容を決定します。

※出願する際は別冊の『学生募集要項』最新版を必ず確認してください。

学生種

全科履修生

6つのコースのうちいずれか1つのコースに所属し、4年以上在学して、所定の124単位以上を修得した場合に卒業が認定されます。本学を卒業すると、学士（教養）の学位が得られます。

■科目区分にかかる卒業要件

科目区分		修得すべき最低単位数		科目区分を問わない単位数	単位の認定方法
基盤科目		14単位	うち外国語 2単位	34単位	基盤科目のうち、外国語科目から2単位以上を修得する。
コース科目	導入科目	76単位	うち自コース開設 34単位 うち他コース開設 4単位		コース科目（導入科目・専門科目・総合科目）のうち、所属するコース開設科目から34単位以上、所属コース（自コース）以外の開設科目から4単位以上を修得する。※卒業研究の6単位は、所属するコースの専門科目として認定する。（卒業研究は必修ではありません。）
	専門科目				
	総合科目				
計		124単位			

■授業形態にかかる卒業要件

授業形態	修得すべき最低単位数	授業形態を問わない単位数	卒業研究の単位の認定方法
放送授業	74単位	30単位	卒業研究の6単位のうち3単位を放送授業、3単位を面接授業（スクーリング）の単位として認定する。
面接授業またはオンライン授業	20単位		
計	124単位		

●2024年度第1学期から、全科履修生の卒業要件（授業形態に係る要件）について、放送授業より修得すべき最低修得単位数を94単位から74単位に変更致しました。
詳細は本学ウェブサイト（https://www.ouj.ac.jp/gakubu/about/saihen/）をご覧ください。
●「教育課程の意義及び編成の方法（'15）」および閉講科目「幼児理解の理論及び方法（'15）」「小学校外国語教育教授基礎論（'17）」については、卒業要件上は「授業形態を問わない単位数」として取り扱います。
●ライブWeb授業科目は、卒業要件上は、「面接授業またはオンライン授業」として取り扱います。

科目履修生・選科履修生

科目履修生は1学期間（6カ月間）、選科履修生は2学期間（1年間）在学することができます。自分の学習したいテーマに基づいて科目を選択します。

学費

※2028年度第1学期から教養学部の授業料を改定します。詳しくは本学ウェブサイト（重要なお知らせ）をご覧ください。

学生種	入学料	授業料	備考
全科履修生	24,000円	1単位あたり6,000円 ※放送授業は印刷教材費込み。 ※6カ月ごとに登録した科目数分の授業料を納入する方式です。	過去3年以内に教養学部の学生であった方は、入学料を25%割引きします。 企業や学校の推薦により、20名以上の方が一括して出願された場合、入学料が半額になります。
選科履修生	9,000円		
科目履修生	7,000円		

既修得単位認定審査等手数料10,000円（※対象者は、全科履修生のうち出願時に他大学等で修得した単位の認定を希望する方のみです。）
※学費の支援については、奨学金・教育訓練給付制度等があります。詳細は、本学ウェブサイトを確認してください。
※在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

さらに詳しく知りたい方は各種パンフレットを利用してください

放送大学についてさらに知りたい方に向けて、
目的別で冊子を用意しています。
本学ウェブサイトにてデジタル版も公開しています。
ぜひ活用してください。

■ 配布パンフレット一例

・教員免許状及び各種資格について
・教員向け放送大学でキャリアアップを目指しませんか？
・学士（看護学）の取得をめざすために
・准看護師から看護師国家試験の受験を目指しませんか？
・「特例制度」を利用して、放送大学で幼稚園教諭免許状の取得を目指しませんか？
・面接授業開設科目一覧
・エキスパート～認証取得の手引き～
・認定心理士資格取得の手引き
・公認心理師学部段階カリキュラム

インターネットで
資料請求・出願できます。
放送大学 検索
www.ouj.ac.jp

放送大学

放送大学本部

〒261-8586
千葉市美浜区若葉 2-11
www.ouj.ac.jp

お問い合わせは放送大学ウェブサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

2026.10